

令和4年度（2022年度）
事業計画書

1. 申請者の概要

| | | | | |
|---|--|------------------------------|---------------|--------------|
| 申請者 | 団体名 | 泉佐野商工会議所 | | |
| | 代表者職・氏名 | 会頭 濱崎 忠親 | | |
| | 所在地 | 〒598-0006 泉佐野市市場西3丁目2番34号 | | |
| | 担当者 | 職・氏名 | 中小企業相談所長 永田一夫 | |
| | | 連絡先 | 電話番号（直通）： | 072-462-3128 |
| Fax： | | | 072-463-8780 | |
| E-mail： | info@izumisano-cci.or.jp | | | |
| ①設立年月日 | 昭和25年12月9日 | | | |
| ②職員数 | 職員数 12人（うち経営指導員数 7人） 令和3年12月時点 | | | |
| ③所管地域 | 大阪府泉佐野市・泉南郡田尻町 | | | |
| ④管内事業所数 | 5,080件 | | | |
| ⑤管内小規模事業者数 | 3,226件 | | | |
| ⑥会員数（組織率） | 1,176件（23.1%）（令和4年1月5日現在） | | | |
| ※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載のこと | | | | |
| <input type="checkbox"/> 主な事業概要（定款記載事項等） | | | | |
| <ol style="list-style-type: none">1. 商工会議所としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。2. 行政庁等の諮問に応じて答申すること。3. 商工業に関する調査研究を行うこと。4. 商工業に関する情報及び資料の収集又は刊行を行うこと。5. 商工業に関する講演会又は講習会を開催する。6. 商工業に関する技術及び技能の普及又は検定を行うこと。7. 博覧会・見本市等を開催し、又はこれらの開催の斡旋を行うこと。8. 商事取引に関する仲介又は斡旋、仲裁を行うこと。9. 商工業に関して相談に応じ、又は指導を行う。 | | | | |

(1) 所管地域の産業経済の現状と課題

当地域（泉佐野市&泉南郡田尻町）は、大阪市と和歌山市のほぼ中央に位置しており、関空をひとつの核と位置づける大阪湾地域において重要な位置にある。泉佐野市の人口は2021年 総人口99,661人(外国人を含む)で、高齢者は25.9%を占め、人口の3.9人に1人が65歳以上、7.6人に1人が75歳以上。出産や子育ての中心となる若い女性に着目すると、20歳～39歳の人口は、10,905人で総人口の11.0%で、全国平均（10.5%）より高い割合となっている。また田尻町の人口は2021年の総人口8,642人で、高齢者は23.4%を占め、人口の4.3人に1人が65歳以上、7.9人に1人が75歳。出産や子育ての中心となる若い女性に着目すると、20歳～39歳の人口は、981人で総人口の11.3%と全国平均より高い割合となっている。企業数の産業構造別の割合（2016年）では、泉佐野市では、卸・小売業が一番多く、次いで宿泊・飲食サービス業、製造業の順となっている。田尻町では、卸・小売業が一番多く、次いで生活関連・サービス業娯楽業の順となっている。

将来的な地域の危機としては、人口減少により労働力不足から生産力が阻害され、経済成長が影響を受ける可能性がある。工業関係では、労働力の確保が難しくなることから、企業の市内進出や設備投資の停滞の恐れがあり、商業関係では、地域の消費意欲、購買力が下がり、商業施設が撤退し、生活の利便性が損なわれる可能性がある。

(2) 所管地域の活性化の方向性

出口の見えないコロナ禍を乗り切るために、資金繰り支援等、セーフティネットの強化により財政基盤を支える。コロナウイルス感染症拡大による生活スタイルの変化への対応をチャンスと捉え、デジタル技術を活用した非対面ビジネス、新規事業開発に関する支援等により経営力強化に繋げ、集客力向上・消費拡大に取り組む。また生産性向上や業務効率化によるコスト削減、人手不足の解消を目指し、IT/IoT導入支援により、コロナ後の産業構造の変化に対応する。雇用の拡大も必要であり、優秀な人材を求める事業所への求人支援や強い組織構築に向けた能力向上や人材定着支援に取り組む。創業希望者にとっては、身近な存在になれるように、様々な創業支援に取組み、新たな創業者の創出を図る。BCP策定を支援し、コロナ禍の状況や自然災害発生時の事業継続が図られるように支援に取り組む。

(3) 主たる支援の対象として想定する小規模事業者等のイメージ及び対象事業者数

当地域における小規模事業者数は、3,226件であり、コロナ禍において販路開拓等による自助努力だけでは限界を感じている事業者や積極的にIT導入・活用を行い、経営の合理化、収益力の向上を目指す事業者、資金調達、事業計画さらには新事業へ積極的に取り組む事業者、地域社会課題の解決を目指す創業予備軍、業種に関係なく、新型コロナにより、企業活動に影響を受けている企業やコロナ後の新しい生活様式や意識の変化に沿った事業活動を模索している事業所等、経営課題の発掘や対応が不十分で、長期安定した事業経営を行うことが困難な小規模事業者を対象とする。

(4) 事業の目標

女性起業家支援事業では、今のビジネスをさらにステップアップするための壁を乗り越える、或いはビジネスアイデアを実現する等、同じ想いを持つ女性起業家・経営者とのネットワーク構築を目指す。クラウドファンディング活用セミナーでは、コロナ禍の中、新しい取組みの実施のためにクラウドファンディングの活用を促す。自然災害や感染症対策としては、新型コロナ感染症対策を含めたBCPの作成の重要性や必要性を浸透させて、大規模災害に遭遇しても事業継続を可能とするためのBCP策定を支援する。労働力不足と働き方改革については、就職フェアや就労フェア、障害者雇用セミナー等を通じて、少子高齢化社会による人口減少などにより、年々、働き手の減少が続く中、今後ますます増加するであろう業務負荷に対して、効率的に軽減が行えるようにすることを目的とする。又若手・中堅社員、人事担当者が業務を行うにあたって、必要なスキルを習得し組織基盤の強化に繋げる「ビジネスコミュニケーション能力アップセミナー」の開催やリーダーに必要なヒューマンスキルの習得を目指すセミナーの開催。パワハラ防止法の中小事業主への施行を前に、その防止対策に関するセミナーの開催。多様な起業の実態に対応し泉佐野市の認定連携創業支援事業者として、市や地域金融機関と連携を図りながら創業支援に取り組む。ものづくり企業の支援では、商工フェアの開催により、地域のものづくり企業を直接、肌で感じる事ができ、また地域の若者にもものづくり体験の機会を提供し、次世代の事業者育成のきっかけや地域の技術・技能人材の確保を目指す。コロナで大きな影響を受けた飲食店への支援では、費用面の課題から宣伝等をあまり行っていないお店に対して、PR紹介によるお店の魅力を広く発信するため、販路開拓を目指す「泉佐野グルメガイド」を作成する。専門相談では、複雑・高度な課題に対して、弁護士、税理士、社会保険労務士等の専門家の活用や各種支援機関の活用により、早期にスムーズな課題解決を目指す。コロナの影響で大きく落ち込んだインバウンド需要であるが、関西空港の玄関都市として、その活性化は地域経済に大きな影響を与えるため、回復に向けての課題に取り組む。

(5) 事業の実施により期待される効果及び実施しなかった場合の影響（実施する事業の総体的な効果等を記載すること）

コロナ感染症流行下においても、事業環境の変化に合わせて、新商品の開発や新事業分野への進出など、柔軟な対応ができている事業所ほど回復が早いということがあり、経営戦略の基礎を固める中で、事業環境の変化に対応した経営戦略を立てることで、危機を乗り越え、新たな成長軌道に乗せる切っ掛けを生み出すことができる。またデジタル化の推進や事業承継前の課題解決・事業承継後の新たな取組みへのチャレンジ支援や感染症流行による消費者意識・行動の変化に着目し、新たな需要の獲得を目指すことで、この危機を乗り切ることができる。多様な人材の活躍の場として、小規模事業者へ期待される役割は大きいですが、急速なデジタル化の波に乗り遅れることのないように、労働環境の向上や人材活用、業務改革等の諸課題を克服することで、今後の成長・発展に期待が持てるようになる。女性固有の経営課題や起業課題への対応として、先輩女性起業家等や支援機関等との連携強化を図り交流の場を整備することで、ネットワークが強化され、各々の課題解決スピードがアップする。BCPでは、企業経営上の危機管理強化が望まれているが、まだその取り組みを出来ていない事業所が多いことから、市町村との連携を強化し、普及啓発を進めることで、その課題解決に繋げる。これらの事業を実施することにより、ワンストップサービスの拠点としての役割を発揮するとともに、情報不足や経営管理上のノウハウ不足という小規模事業者の課題を解決し、地域の活性化に繋がる。

| I 経営相談支援事業 | | | | |
|---|---------|------------------|------|--|
| 支援メニューの件数 | | | | |
| 事業所カルテ・サービス提案 | 200 事業所 | 支援機関等へのつなぎ | | 30 支援 |
| 金融支援（紹介型） | 30 支援 | 金融支援（経営指導型） | | 55 支援 |
| マル経融資等の返済条件緩和支援 | 5 事業所 | 資金繰り計画作成支援 | | 50 事業所 |
| 記帳支援 | 20 事業所 | 労務支援 | | 55 支援 |
| 人材育成計画作成支援 | 0 事業所 | マーケティング力向上支援 | | 5 事業所 |
| 販路開拓支援 | 57 支援 | 事業計画作成支援 | | 50 支援 |
| 創業支援 | 10 事業所 | 事業継続計画(BCP)等作成支援 | | 10 事業所 |
| コスト削減計画作成支援 | 25 事業所 | 財務分析支援 | | 57 事業所 |
| 5S支援 | 0 事業所 | IT化支援 | | 10 事業所 |
| 債権保全計画作成支援 | 0 事業所 | 事業承継支援 | | 10 事業所 |
| 災害時対応支援 | 0 事業所 | フォローアップ支援 | | 41 事業所 |
| 結果報告 | 176 事業所 | | | |
| 件数設定の根拠及びその実現に向けた取り組み | | | | |
| 前年度支援企業数 | 239 | | | |
| <p>小規模事業者の自己資本比率は高まりつつあるが、損益分岐点が高いため経営環境悪化の中では、売上の急激な変化に見舞われ資金繰りに窮することになるので、感染症流行を踏まえて、まずは自らの財務状況を把握し、経営分析を行うことで、財務基盤を含む経営戦略の基礎を固める。感染症の影響や経営者の高齢化により、廃業リスクが高まる中、事業承継の進捗状況や新事業展開への取り組みについて支援する。事業承継後においても、新たな取組みにチャレンジできるように、事業計画支援や金融支援を充実させる。また感染症を切っ掛けとして、生活様式の変化や意識の変化によるトレンドや消費者の新たなニーズを掴み、危機を乗り越え、再び成長軌道に乗れるように、販路開拓支援や新事業創出に繋げる支援を実施。</p> | | | | |
| 事業所支援の実施方法（専門家や各種支援機関、支援制度の活用など） | | | | |
| <p>資金調達の問題については、マル経融資のみならず、大阪信用保証協会や地域金融機関への紹介など、事業者の実態に合わせて、キメ細かなフォローで資金調達を促す。経営指導員があらゆる機会を捉えて、経営上の悩みや課題解決について相談に応じることで、支援を徹底すると共に、BCP策定や事業承継等、専門的かつ幅広い知識・スキルが必要とされる場合は、よろず支援拠点や各種支援機関との連携、各分野の専門家等の活用により、迅速な課題解決へ導く。コロナ禍であるので、各種支援制度が創出されれば、すみやかに情報提供を行う。生産性向上や働き方改革に加えて、事業継続力強化の観点からも、小規模事業者のデジタル化の重要性が急速に高まっていることから、ITツールの利活用の課題を把握し、デジタル化の取り組みを進める上で重要な意識改革や業務改革、人材活用に着目した支援について、セミナーの開催や専門家の活用により実施。</p> | | | | |
| II 専門相談支援事業 | | | | |
| 事業名 | 新規/継続 | 指標 | 目標数値 | 事業概要 |
| 法律 | 継続 | 相談者数 | 10 | 弁護士による個別相談会の開催（支援日数 10日） |
| 税務 | 継続 | 相談者数 | 12 | 税理士による個別相談会の開催（支援日数 12日） |
| 労務 | 継続 | 相談者数 | 4 | 社会保険労務士による個別相談会の開催（支援日数 4日） |
| 知財 | 継続 | 相談者数 | 4 | 大阪発明協会 知財支援アドバイザーの担当による個別相談会の開催（支援日数 4日） |
| 事業実施のポイント・期待される効果 | | | | |
| <p>経営指導員が対応する中で、課題の本質を理解し、適切な専門家に振り分けを行うことで、事業者においては速やかな課題解決を図る。法律については、弁護士と連携して対応し、迅速な課題解決により、事業者の心の負担を軽減できる。税務については、近畿税理士会との連携によりキメ細かな支援を実施。働き方改革や複雑かつ多様化している労務問題については、社会保険労務士による窓口相談により課題解決を図る。知財相談については、知的財産に関する高度・複雑な課題解決に対応し、その解決にあたる。事業承継については、事業承継ネットワークを活用し、事業者にとっての有効な対策を選択できるように導く。本事業を実施することで、経営者が抱える経営上の課題に速やかに対応でき、企業経営に専念できる環境づくりに貢献できる。本事業を実施しなければ、事業者の経営改善に取り組む切っ掛けが失われ、成長速度の鈍化に繋がり、地域産業の活力向上の妨げとなる。</p> | | | | |

| 事業番号 | 府施策 | 事業名 | 概要 | 金額(円) |
|-----------------|-----|----------------------------|--|------------------|
| (1) 単独事業 | | | | 4,846,475 |
| 1 | ○ | 商工フェアIN泉佐野 | 泉佐野地域のタオルや農産物、工業製品等、優れた特産品をPRするため、物産展を開催する。また、「ものづくり体験教室」や地元グルメの披露等により、相互にコミュニケーションが取れる環境をつくり、「泉佐野」のブランド力を広く内外にアピールし、販路拡大に繋げていく。 | 1,679,125 |
| 2 | | 泉佐野グルメガイド(ナイトマップ) | 泉佐野市・田尻町内にある飲食店のPRを行う為に店舗紹介をメインとしたガイドマップを作成。 | 631,250 |
| 3 | ○ | 就労支援フェア (高齢者雇用促進フェア) | 働く意欲がありながら年齢、身体的機能等、さまざまな要因を抱えているため、雇用・就労を実現できない方を対象に、求人企業とのマッチングの場を提供。講座や就労相談を通じて求職者の雇用促進を図る。 | 949,400 |
| 4 | ○ | 創業支援連続講座事業 | 起業・開業を控えている方や検討している方を対象として、必要な知識やノウハウの習得、新たなビジネスモデルを構築する起業家のフォローアップ等を目的に「創業支援事業」を実施する。 | 374,700 |
| 5 | ○ | 女性起業家支援ネットワークの推進事業 | 女性経営者やこれから経営を引き継いでいく方、起業を考えている女性の方々等を対象に、アイデアやビジネスを成長させるヒントを吸収すると共に、人との関わり合いが難しいご時世の中で、今の悩み事やお困りごとなどを吸収し合い、新たな道を開く切っ掛けをつくる。 | 606,000 |
| 6 | ○ | クラウドファンディング活用セミナー | コロナ禍の中、新たな商品開発やサービスの提供等、新しい取り組みを実施するために、クラウドファンディングの活用を促すためのセミナーを開催する。 | 404,000 |
| 7 | | 魅せる写真撮影セミナー | WebやSNSに掲載する写真を魅力的に撮影し、商品紹介やサービスPRを効果的にするセミナーを開催する。 | 202,000 |
| (2) 広域事業 | | | | 2,690,100 |
| 8 | ○ | 就職フェア (合同就職面接会) | 若年・中高年齢者の人材を求める中小企業と働く意欲のある求職者を結びつけるための合同就職説明会を開催する。 | 441,800 |
| 9 | | IT活用販路開拓支援事業 | WebやSNS等を用いての販路開拓を推進する講座を開催。 | 151,500 |
| 10 | ○ | 障がい者雇用に関するセミナー | 制度の周知や支援施策に関する情報提供や事例発表を通じ、多様性企業への一歩を踏み出す。 | 181,800 |
| 11 | ○ | BCP普及啓発セミナー | 感染症の拡大を含め、当地域でも大規模災害のリスクが高まっており、様々なリスクに備えるためにも、BCP策定の重要性・必要性を学び、各種自然災害や感染症対策の整備や見直しを図る。 | 141,400 |
| 12 | | ビジネスコミュニケーション 能力アップセミナー | ビジネスコミュニケーション能力アップにより、人材育成を図る。 | 181,800 |
| 13 | ○ | ハラスメント防止対策セミナー | パワハラ防止法についての理解を促し、ハラスメント行為について、注意を促す。 | 202,000 |
| 14 | | 大阪勧業展 | 「大阪商工会議所(幹事)の事業計画書参照」 | 25,250 |
| 15 | | ものづくり企業商談会 | 「堺商工会議所(幹事)の事業計画書参照」 | 250,000 |
| 16 | | 自社商品売込み商談会 | 「堺商工会議所(幹事)の事業計画書参照」 | 150,000 |
| 17 | ○ | 中小企業のIT/IoT導入支援 | 「岸和田商工会議所(幹事)の事業計画書参照」 | 202,000 |

4-1. 地域活性化事業一覧

泉佐野商工会議所

| 事業番号 | 府施策 | 事業名 | 概要 | 金額(円) |
|-----------|-----|--------------------------|------------------------|-----------|
| 18 | ○ | テレワークの導入・定着支援 | 「岸和田商工会議所(幹事)の事業計画書参照」 | 101,000 |
| 19 | ○ | 海外ビジネス展開希望企業の発掘・支援事業 | 「岸和田商工会議所(幹事)の事業計画書参照」 | 101,000 |
| 20 | | SDGsワークショップセミナー | 「貝塚商工会議所(幹事)の事業計画書参照」 | 75,750 |
| 21 | | ドローンビジネス活用セミナー | 「貝塚商工会議所(幹事)の事業計画書参照」 | 75,750 |
| 22 | | 企業の持続可能な成長のためのSDGs取組セミナー | 「貝塚商工会議所(幹事)の事業計画書参照」 | 106,050 |
| 23 | ○ | BCP策定ワークショップセミナー | 「貝塚商工会議所(幹事)の事業計画書参照」 | 303,000 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| うち府施策連携事業 | | | | 5,687,225 |

| 事業名 | | 商工フェアIN泉佐野 | | 事業番号 | I | 新規/継続 | 継続 |
|---------------------------|-------------------------------|---|------|------|----|--|----|
| 想定する実施期間 | | H29 年度～ | 年度まで | 6 | 年目 | ←複数段階的实施事業は左欄に○を付けること。また、別紙にて計画を提出すること | |
| 事業の概要 | 事業概要 | 泉佐野地域のタオルや農産物、工業製品等、優れた特産品をPRするため、物産展を開催する。また、「ものづくり体験教室」や地元グルメの披露等により、相互にコミュニケーションが取れる環境をつくり、「泉佐野」のブランド力を広く内外にアピールし、販路拡大に繋げていく。 | | | | | |
| | 事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) | 泉佐野地域では、タオルや農産物等、優れた特産品を生み出しているが、地域の産品をPRできる場が少なく、知名度が不足している感がある。商業分野に限らず工業分野においても認知度向上に苦慮する製造業者を支援し、販路拡大に繋げる必要がある。そこで本事業では、PRの場として物産展を開催し、製品の試用や体験により、よりインパクトのあるPRを可能とし、出展を通じて、出展スキルを身に付けることから、他の展示会への参加意欲を高め、販路拡大の機会を広めることができる。また同時開催イベントとして「ものづくり体験教室」を開催。「ものづくり」に対する関心を高め、次世代の事業者育成のきっかけとなる場を提供する。また地元グルメの披露を行い、相互にコミュニケーションが取れる環境をつくる。「泉佐野」のブランド力を広く内外にアピールし、販路拡大に繋げていくと共に、地域に「商工のお祭り」を根づかせることで、参加される方々の様々な出会いにより、異業種の垣根を越えた関係をつくり、地域をさらに盛り上げたいという気運を高め、地域活性化に繋げる。 | | | | | |
| | 支援する対象 (業種・事業所数等) | 泉佐野市・田尻町の商工業者35社の参加を想定 | | | | | |
| | 事業に対する 企業ニーズ (内容・把握方法等) | 小規模事業者の発信力の弱さにより地域において認知度が低く、ビジネスチャンスを逃している現状があり、今までになかった町おこしの事業が切望されていた。従来は2日間開催で来場者は第一回が1500名・第二回が5000名・第三回が7000名の来場を頂き、又、昨年度はコロナ感染症拡大防止のため、中止となり、R4年1月に第四回を開催。但しコロナ感染症の拡大防止のため1日間の開催。コロナ禍では、大きな痛手を受けており、コロナ後の生活様式や消費者意識の変化がある中、新規顧客の獲得や商品PRが重要な経営課題となっており、同イベントへの期待の高さが伺える。 | | | | | |
| これまでの取組状況 ※継続事業の場合のみ記入 | 実施内容・実績数値 | <p>※(R3年度) 令和4年1月23日(日)に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。 ※(R2年度) 令和2年11月7日(土)8日(日)の開催予定でしたが、コロナの緊急事態宣言により中止。 <R元年度> 開催日時 令和元年9月21日(土)・22日(日) AM11:00~PM4:00 ・会場 レイクアルスタープラザ・カワサキ生涯学習センター前広場 他 ・実施内容 泉佐野周辺地域の事業所が、地域住民に対し「自社商品や製品の紹介」やお客様の「生の声を聞く」場として活用。地域住民においては、市内事業所や地場産業を知る機会となった。わがまち泉佐野の「誇れる事業所」を認識することで「事業所と市民」との共生意識の促進を図ることができた。出店事業者からの協力を経て、地場産品の抽選会を紹介。 ・来場者数 7,000人</p> <p>●「展示・販売・飲食等」 ①「商品・地場産業展示コーナー」・・・23社(専門相談コーナーを含む) ②「商品の販売・飲食コーナー」・・・15社 ③「地域の団体等のコーナー」・・・8団体(泉佐野警察署・泉佐野消防署・商工会議所青年部等)</p> <p>●「ものづくり教室」 ①「大阪府技能士連合会」 ・大阪府印章技能士会による「石のはんこづくり教室」 38名(9月21日(土)) ・大阪府調理技能士会による「プロによるだし巻きのコツ料理教室」 50名(9月21日(土)) ②「泉州タオル染色・体験教室」(9月22日(日)) ・内容 「世界にひとつだけの タオル体験学習」(ダイワタオル協同組合他 協力指導) ・会場 レイクアルスタープラザ・カワサキ生涯学習センター ・参加者 72名 ③「古代のロマン・勾玉づくり体験教室」(9月22日(日)) ・内容 古墳時代のネックレス・装飾品・勾玉を手作業で首飾りまで作る ・会場 レイクアルスタープラザ・カワサキ歴史館いずみさの ・講師 レイクアルスタープラザ・カワサキ歴史館いずみさの 学芸スタッフ ・参加者 116名</p> <p>●「ステージショー」・・・「あわ踊り」「パトントワリング」「キャラクターショー」「歌謡ショー」「マジックショー」「泉佐野警察の防犯教室」</p> | | | | | |
| | 反省点 | 参加者店舗への来場者を平準化するためにも、回遊性の改善をはかるため、ブース配置の改善を図る必要がある。 | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|--|-------------------|---|--|-------------|----------------|--|--------------|-----------|---|
| 具体的な実施内容・手法 (該当型に○)いつ・どこで・何を・どのようにするのかを明確に) | ○ 人材育成型 | 【物産展】(1日・35社予定) ①開催日:2022年9月25日(日)AM10:00~PM4:00 ②開催場所:レイクアルスタープラザ・カワサキ生涯学習センター前広場他(泉の森広場・生涯学習センター・歴史館いずみさの) ③内容:泉佐野市内の商工業者一同に集めた物産展を実施し、自社商品を展示PR・対面販売することで認知度を上げ、販路開拓を支援する。 ④集客イベント (1)会場内での「スタンプラリー」を実施し、スタンプの拠点を4ヶ所設け、スタンプが貯まれば、会場内数か所に設置の商品交換コーナーで。地域特産品等との交換を行う。 (2)未定:泉佐野市の地域にまつわる歴史や特産品に関わる内容で集客イベントを実施する。 ⑤支援企業数 35社 ⑥来場者数 3,500人(1日間) 【地場産業に触れる教室】 ・泉州タオルの染色体験を行い、自分だけのマイタオルを作る。 【ものづくり教室】 大阪府技能士連合会との連携により開催 | | | | | | | |
| | 人材交流型 | | | | | | | | |
| | ○ 販路開拓型 | | | | | | | | |
| | ハズオン型 | | | | | | | | |
| | 独自提案型 | | | | | | | | |
| 事業手法 (該当する場合は○印と下欄にその根拠) | | ○ (a)府施策連携 | (b)広域連携 | ○ (c)市町村連携 | (d)相談事業相乗効果 | | | | |
| | | 労-5 | 産業祭・物産展・ものづくり教室 | | 販路開拓 | | | | |
| | | (a)府施策連携 労働5番 大阪府施策「産業祭・物産展・ものづくり教室」により、大阪府技能士連合会との連携により「ものづくり教室」等の開催。 (c)市町村連携 市役所・町役場との連携を通じて、案内周知を図る。 | | | | | | | |
| 主な事業の目標 | 総支援対象企業数 | 設定根拠及び募集方法⇒ | ホームページや市民版(会議所ニュース 3万部)、新聞折込(泉佐野市と田尻町)を活用し、それぞれ広くPRする。また役所との連携により情報提供を徹底する。市・町(窓口・広報)より広く同事業をPR。また幅広い年齢層に参加してもらえるよう、民間のイベント情報サイトなどでも事前周知を行う。 | | | | | | |
| | 支援対象企業の変化(代表的な指標) | 35 社 | 商業・サービス業では、一般消費者の生の声を聞くことができ、今後の品揃えや商品開発等に繋げることができ、建設・工業関係では認知度のアップにより長期的観点からの販路拡大や経営力向上に繋がる。また「ものづくり」への関心を高め、次世代の人材の育成効果を期待できる。 | | | | | | |
| | | 指標 | 自社製品のPRに繋がった企業の割合 | 数値目標 | 80% | | | | |
| | その他目標値 | 目標値の内容⇒ | 来場者数3,500名。その対象(ものづくり等に何らかの関心のある方)を45人×35社=1,575人 | | | | | | |
| | 1575 名 | | | | | | | | |
| 算定基準 (行が足りない場合は、⇒の行に挿入) | ⇒ | 50,500 | 円 × | 35 | 社 × | 1.00 | = | 1,767,500 | 円 |
| | | 50,500 | 円 × | 1,575 | 社 × | 0.01 | = | 795,375 | 円 |
| | | | 合計 | 1,610 | 社 | (小計) | | 2,562,875 | 円 |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| ※新規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算(小計の5%) | | | | | | | | | |
| 計 2,562,875 円 | | | | | | | | | |
| 独自提案単価及び独自補正係数の根拠 | | | | | | | | | |
| 算出額 | ①市町村等補助 | | 円 | 交付市町村等 | | | | | |
| | ②受益者負担 | | 570,000 円 | 負担金の積算 | | ①出店料(多目的室)10,000×24社 ②出展料(泉の広場)30,000×11社 | | | |
| | ○ (a)府施策連携 | (b)広域連携 | ○ (c)市町村連携 | (d)相談事業相乗効果 | | | | | |
| | 標準事業費 | | 補助率 | | (①市町村等+②受益者負担) | | | | |
| | 1,767,500 | 円 × | 0.50 | = | 883,750 | 円 | (570,000 円) | | |
| | 795,375 | 円 × | 1.00 | = | 795,375 | 円 | (円) | | |
| | | | | | 1,679,125 | 円 | (円) | | |
| 補助金の団体配分 (「代」欄には、中核団体またはヒアリングで説明する代表団体に○) | | | | | | | | | |
| 代 | 商工会・会議所名 | | 配分額 | | 役割(配分の考え方) | | | | |
| | 泉佐野商工会議所 | | 1,679,125 円 | | | | | | |
| | | | 円 | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--|---|--|--|------|------------|---------------|------|
| 事業名 | | 「泉佐野グルメガイド」(ナイトマップ) | | 事業番号 | 2 | 新規/継続 | 継続 |
| 想定する実施期間 | | R1 | 年度～ | R4 | 年度まで | 4 | 年目 |
| ←複数段階的实施事業は左欄に○を付けること。また、別紙にて計画を提出すること | | | | | | | |
| 事業の概要 | 事業概要 | 泉佐野市・田尻町内にある飲食店のPRを行う為に店舗紹介をメインとしたガイドマップを作成する。 | | | | | |
| | 事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) | 泉佐野市・田尻町周辺の夜間営業を行っている飲食店をガイドマップ形式で作成を行う。売上上位の商品を掲載することで店の効果的なPRに繋げること、店舗を掲載するにあたって改めて自店舗の経営の見直しに繋げるようにすることは、昨年と同様である。新型コロナウイルス流行の影響により、地域の飲食店の客足は緊急事態宣言が明けた後も、完全には戻っていない。店舗の知名度向上を目指してガイドマップの作成を行い、新規顧客の増加へ繋げる。 | | | | | |
| | 支援する対象 (業種・事業所数等) | 泉佐野市・田尻町内で駅周辺の飲食店を中心に募集する。また、本所と泉佐野市で連携している「泉佐野長者バル」の参加店ネットワーク(泉佐野市内の飲食店約65店舗が加盟・全て南海本線泉佐野駅又は羽倉崎駅周辺の飲食店)において募集を行い、50社を支援対象とする。 | | | | | |
| | 事業に対する企業ニーズ (内容・把握方法等) | 前回のアンケート集計において高い満足度及び事業のリピートを望まれる声が多くあった。また、市内の小規模の飲食店は魅力ある商品を提供しているにも関わらず、費用面の問題から宣伝等をあまり行っていないお店が多い。そういった店舗に対して本事業は非常にニーズがある。好評であり、リピートを望む声が多いので、R4年度も実施する。 | | | | | |
| これまでの取組状況 ※継続事業の場合のみ記入 | 実施内容・実績数値 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度開催実績 取組内容：泉州地域一帯の飲食店に募集を行い「さのまちランチマップ」を作成した。 実施時期：募集7月～9月 校正確認10月上旬 印刷10月下旬～ 支援企業数：28社 ・令和2年度開催実績 取組内容：泉州地域一帯の飲食店に募集を行い「さのまちディナーマップ」を作成した。 実施時期：募集7月～8月 校正確認9月～10月 印刷11月～ 支援企業数：38社 ・令和3年度開催実績 取組内容：泉州地域一帯の飲食店に募集を行い「さのまちディナーマップ」を作成した。 実施期間：募集7月～9月 校正確認10月～11月 印刷12月～ 支援企業数：39社 | | | | | |
| | 反省点 | 令和3年度には、新型コロナウイルス感染症の影響も収まるだろうと予想していたが、収まらず、時短営業や休業をする店が多くあった。そのため各店舗との連携が非常に難しくなり、参加店舗の募集と掲載内容の確認等がスムーズに進まなかった。今後は店舗との連携手段を見直す必要があると感じた。 | | | | | |
| 具体的な実施内容・手法 (該当型に○)いつ・どこで・何を・どのようにするのかを明確に) | 人材育成型 | 泉佐野市・田尻町内の小規模の飲食店に対して募集を行い、グルメマップを作成し、お店の魅力を広くPRしていく。マップは、お店や観光案内所等で配架を行い、銀行等にも幅広く配架依頼をしていく予定である。単なる商品紹介や店舗紹介を行うのではなく、各店舗ごとに営業時間中に売上の多い逸品を紹介していくことで消費者に印象の強いPRを行う。 | | | | | |
| | 人材交流型 | | | | | | |
| | ○ 販路開拓型 | <ul style="list-style-type: none"> ・募集開始時期 7月～8月 ・校正及び印刷 9月～11月 ・冊子発行部数 3000部 ・配布予定時期 12月 | <ul style="list-style-type: none"> ■掲載内容 ・店名・所在地・写真・電話番号・営業時間 ・営業時間に一番売れているメニュー ・アイコン(駐車場の有無等のマーク) ・休日・平均予算・席数 ・コース料理等の有無 ・クレジットカード等の使用可否 | | | | |
| | 独自提案型 | | | | | | |
| 事業手法 (該当する場合は○印と下欄にその根拠) | (a)府施策連携 | | (b)広域連携 | | ○ (c)市町村連携 | ○ (d)相談事業相乗効果 | |
| | | | | | | | 販路開拓 |
| | | (c)市町村連携 市役所・町役場との連携を通じて、案内周知を図る。市・町報版(会議所ニュース)を通じて、幅広く周知する。 | | | | | |
| | | (d)相談事業相乗効果 参加企業の個別の課題解決に対して、販路支援、金融支援等にてカルテ化に繋ぎ、相談事業相談効果を図る。 | | | | | |
| 主な事業の目標 | 総支援対象企業数 | 設定根拠及び募集方法⇒ | 泉佐野市・田尻町内における飲食業の会員企業数約100店舗及び非会員企業からも募集 | | | | |
| | 支援対象企業の変化 (代表的な指標) | 50 社 | 募集方法：会議所ニュース及びDM等での案内 経営指導員の巡回 泉佐野長者バル活用 | | | | |
| | 新規顧客の獲得、他店舗と比較による店舗の見直し、自店の商品の強みを再認識、販路開拓への意識向上 | 指標 | 新規顧客の獲得へ繋がったと実感した企業の割合 | | 数値目標 | 70% | |
| その他目標値 | 目標値の内容⇒ | | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|--|-----------|----------|----------|-----------|----------------|-------------|--------------------------|-----------|-----------|---|
| 算定基準 (行が足りない場合は、⇒ の行に挿入) | ⇒ | サービス単価 | | 支援企業数 | | 係数 | | 標準事業費 | | |
| | | 50,500 | 円 × | 50 | 社 × | 0.50 | = | 1,262,500 | 円 | |
| | | | 円 × | | 社 × | | = | | 円 | |
| | | | 円 × | | 社 × | | = | | 円 | |
| | | | 円 × | | 社 × | | = | | 円 | |
| | | | 円 × | | 社 × | | = | | 円 | |
| | | 合計 | | 50 | 社 | (小計) | | 1,262,500 | 円 | |
| ※新規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算 (小計の5%) | | | | | | | | | 円 | |
| | | | | | | | | 計 | 1,262,500 | 円 |
| 独自提案単価及び独自補正係数の根拠 (基準どおりの場合不要) | | | | | | | | | | |
| 算出額 | ①市町村等補助 | | 円 | | 交付市町村等 | | | | | |
| | ②受益者負担 | | 20,000 円 | | 負担金の積算 | | 商工会議所非会員企業 @ 2,000 × 10社 | | | |
| | (a)府施策連携 | (b)広域連携 | ○ | (c)市町村連携 | ○ | (d)相談事業相乗効果 | | | | |
| | 標準事業費 | | 補助率 | | (①市町村等+②受益者負担) | | | | | |
| | 1,262,500 | 円 × | 0.50 | = | 631,250 | 円 | (| 20,000 | 円) | |
| 補助金の団体配分 (「代」欄には、中核団体 またはヒアリングで説明する代 表団体に○) | 代 | 商工会・会議所名 | | 配分額 | | 役割 (配分の考え方) | | | | |
| | ○ | 泉佐野商工会議所 | | 631,250 円 | | | | | | |
| | | | | 円 | | | | | | |
| | | | | 円 | | | | | | |
| | | | | 円 | | | | | | |

【備考】

※別添で補足する内容があれば添付してください

| | | | | | | | |
|--|--------------------------------|--|--|------|------------|---|-------------|
| 事業名 | | 就労フェア（高齢者雇用促進フェア） | | 事業番号 | 3 | 新規/継続 | 継続 |
| 想定する実施期間 | | H25 年度～ | 年度まで | 9 | 年目 | ←複数年段階的实施事業は左欄に○を付けること。また、別紙にて計画を提出すること | |
| 事業の概要 | 事業概要 | 働く意欲がありながら年齢、身体的機能等さまざまな要因を抱えているため、雇用・就労を実現できない方を対象に、求人企業とのマッチングの場を提供。講座や就労相談を通じて求職者の雇用促進を図る。 | | | | | |
| | 事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) | 現下の厳しい雇用情勢の中にあって55歳以上の高齢者を対象に「高齢者雇用促進フェア」を開催。求人企業とのマッチングの場を提供する合同就職面接会をはじめ、講座や就労相談などを実施することにより、「高齢者」を中心とした求職者の雇用促進を図る。又、障がい者、母子家庭等の就職困難者の雇用促進もあわせて図る。 | | | | | |
| | 支援する対象 (業種・事業所数等) | 泉佐野公共職業安定所管内（泉佐野市・熊取町・田尻町・泉南市・阪南市・岬町）の事業所、又は関西国際空港内、りんくうタウンの事業所への参加募集を行う。 | | | | | |
| | 事業に対する 企業ニーズ (内容・把握方法等) | 労働意欲がありながら高齢であることから、就職が困難であるという課題と、企業側においては、豊富な知識や経験を持つ高齢者を確保したいというニーズを結びつける。又、障がい者、母子家庭等の就職困難者の方と企業ニーズを結び付ける。 | | | | | |
| これまでの取組状況 ※継続事業の場合のみ記入 | 実施内容・実績数値 | <p><R2年度はコロナ感染症の影響により中止> (R3年度)</p> <p>開催日 令和4年1月29日(土) PM1:00~4:00 場 所 エブノ泉の森ホール 2F 参加企業数 13社 来場者(延べ)70人 面接参加者26人 高齢者等相談 9人 障がい者就労相談 2人 若年者就労相談 1人 シルバー人材センター相談 10人 農業セミナー及び農業相談 7人・セブンイレブン仕事説明会 5人 ハローワークコーナー及び面接対策セミナー 10人等</p> | | | | | |
| | 反省点 | 感染症等の影響とも考えられるが、参加者自体の減少が見られたため、実施時期や実施形態等検討し来年度の実施に努めたい。 | | | | | |
| 具体的な実施内容・手法 (該当型に○)いつ・どこで・何を・どのようにするのかを明確に) | 人材育成型 | (日程) 令和5年1月 (場所) 泉の森ホール 2F (来場者) 約170名 | | | | | |
| | ○ 人材交流型 | (面接会) 参加予定企業 15社 (主催) ・泉佐野市・泉佐野商工会議所 (連携機関) 泉佐野公共職業安定所・大阪府・阪南地域労働ネットワーク・公益社団法人泉佐野市シルバー人材センター・泉州地域若者サポートステーション 他 | | | | | |
| | 販路開拓型 | (シニア向け仕事説明会) (相談コーナー) 障がい者就労相談・中高年齢者等就労相談・福祉のお仕事相談・女性のための生活相談・シルバー人材センター相談・若年者就労相談・職業適性診断等 | | | | | |
| | ハズオン型 | (集客の手法) ・泉佐野市報 11月号・1月号 ・商工会議所月報 11月号・1月号 ・ハローワークHP、関西空港記者クラブへのプレスリリース ・OSAKAしごとフィールド等へ情報発信 ・(株)セブンイレブン及びマクドナルド各店舗(泉州地域)でポスター掲示 ・地域情報誌(北部・南部市民交流センター地域) ・立て看板の設置(南海・泉佐野駅 井原の里駅等) | | | | | |
| | 独自提案型 | | | | | | |
| 事業手法 (該当する場合は○印と下欄にその根拠) | ○ (a)府施策連携 | | ○ (b)広域連携 | | ○ (c)市町村連携 | | (d)相談事業相乗効果 |
| | 労-9 求人・求職マッチング事業(地域労働ネットワーク事業) | | | | | | 雇用・求人 |
| | | (a)府施策連携 労働NO.9 「求人・求職マッチング事業」との連携 (c)市町村連携 市役所・町役場との連携を通じて、案内周知を図る。市・町報版(会議所ニュース)を通じて、幅広く周知する。また打合せ会議(泉佐野市・田尻町・ハローワーク等)を開催し相互の情報交換等を行い、当日のスタッフでの協力。 | | | | | |
| 主な事業の目標 | 総支援対象企業数 | 設定根拠及び募集方法⇒ | ホームページや市民版(会議所ニュース)を活用する。また役所との連携により情報提供を徹底する。 | | | | |
| | | 15 社 | 直近3ケ年の実績からすると、企業数は15社~20社である。 | | | | |
| | 支援対象企業の変化 (代表的な指標) | 高齢者の持つ豊富な知識や経験を活用することができ、社内での若手の人材育成にも相乗効果がある。 | | | | | |
| | | 指標 | 採用に結びついた企業の割合 | | | 数値目標 | 50% |
| その他目標値 | 目標値の内容⇒ | | | | | | |
| | 170 名 | 来場者数 | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|--|--------------------------|----------|--------------------------|-----------|--------------------------|-------------|--------------------------------------|---------|---------|----|
| 算定基準 (行が足りない場合は、⇒ の行に挿入) | ⇒ | サービス単価 | | 支援企業数 | | 係数 | | 標準事業費 | | |
| | | 40,400 | 円 × | 15 | 社 × | 1.00 | = | 606,000 | 円 | |
| | | 40,400 | 円 × | 170 | 社 × | 0.05 | = | 343,400 | 円 | |
| | | | 円 × | | 社 × | | = | | 円 | |
| | | | 円 × | | 社 × | | = | | 円 | |
| | | | 円 × | | 社 × | | = | | 円 | |
| | | 合計 | | 185 | 社 | (小計) | | 949,400 | 円 | |
| ※新規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算 (小計の5%) | | | | | | | | | 円 | |
| | | | | | | | | 計 | 949,400 | 円 |
| 独自提案単価及び独自補正係数の根拠 (基準どおりの場合不要) | | | | | | | | | | |
| 算出額 | ①市町村等補助 | | 円 | | 交付市町村等 | | | | | |
| | ②受益者負担 | | 円 | | 負担金の積算 | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> | (a)府施策連携 | <input type="checkbox"/> | (b)広域連携 | <input type="checkbox"/> | (c)市町村連携 | <input type="checkbox"/> (d)相談事業相乗効果 | | | |
| | 標準事業費 | | | | 補助率 | | (①市町村等+②受益者負担) | | | |
| | | 949,400 | 円 | × | 1.00 | = | 949,400 | 円 | (| 円) |
| 補助金の団体配分 (「代」欄には、中核団体 またはヒアリングで説明する代 表団体に○) | 代 | 商工会・会議所名 | | 配分額 | | 役割 (配分の考え方) | | | | |
| | | 泉佐野商工会議所 | | 949,400 円 | | | | | | |
| | | | | 円 | | | | | | |
| | | | | 円 | | | | | | |
| | | | | 円 | | | | | | |

【備考】

※別添で補足する内容があれば添付してください。

| | | | | | | | |
|--|-------------------------------|--|--|------|------------|-------|---|
| 事業名 | | 創業支援連続講座事業 | | 事業番号 | 4 | 新規/継続 | 継続 |
| 想定する実施期間 | | R 2 | 年度～ | 年度まで | 3 | 年目 | ←複数年段階的实施事業は左欄に○を付けること。また、別紙にて計画を提出すること |
| 事業の概要 | 事業概要 | 起業・開業を控えている方や検討している方を対象として、必要な知識やノウハウの習得、新たにビジネスモデルを構築する起業家のフォローアップ等を目的に「創業支援事業」を実施する。 | | | | | |
| | 事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) | 泉佐野市の認定連携創業支援事業者として、市並びに地域金融機関と連携を図りながら創業支援に取り組んでいる。創業を目指す方や創業間もない方を対象として、創業時に必要な経営・財務・人材育成・販路開拓等、事業経営の基本を学ぶセミナーを開催する。広報は、広域での実施とすることで受講する機会を広く提供し、総合的な地域の活性化に繋がる。 | | | | | |
| | 支援する対象 (業種・事業所数等) | 泉佐野市や近隣の市や町に在住する創業予定者（女性経営者・シニア等）、副業起業予定者、創業して1～5年未満の者等 | | | | | |
| | 事業に対する企業ニーズ (内容・把握方法等) | 窓口相談において開業資金を調達するにあたり、創業に必要な知識や手続きについて十分に把握されておらず、「実現可能なビジネスプラン」として計画されていないケースが多い。創業希望者が、創業に関する必要な知識を得て、専門家による客観的な批評と適切なアドバイスを受ける機会が必要である。 | | | | | |
| これまでの取組状況 ※継続事業の場合のみ記入 | 実施内容・実績数値 | 【令和3年度 実施状況】 開催日時：令和3年11月10日・24日・12月1日・15日 18時30分～20時30分（2時間：4日間） 場 所：泉佐野商工会館 研修室 講 師：中小企業診断士 参加人数：11名 | | | | | |
| | 反省点 | ①セミナー途中から欠席される方が数名おられる。 ②スキルアップのためだけの受講者も多く、具体的に開業を目指している方の参加が少ない。 | | | | | |
| 具体的な実施内容・手法 (該当型に○)いつ・どこで・何を・どのようにするのかを明確に) | ○ 人材育成型 | 平日の夜間（PM6:30～8:30）に4日間実施。 開催日以降の相談・支援については、経営指導員が随時対応し、より専門的な相談の場合は専門家へ繋ぐ。 独立開業を志す方や新たな事業を起こしたいと考えている方々を対象とし、創業に必要なポイントを実践的・体系的に学んで頂く。また開業して間もない方も対象として開催。 | | | | | |
| | 人材交流型 | (内容) ・創業を成功させる経営について | | | | | |
| | 販路開拓型 | ・ビジネスプラン作成指導 ・販売計画、労務管理、税務等 ・財務会計等 | | | | | |
| | ハズオン型 | 講師：中小企業診断士 開催時期：2022年8月～12月の間で4日間開催（予定） | | | | | |
| | 独自提案型 | ※コロナの影響によりリアル開催が困難になれば、オンライン開催の可能性あり。 | | | | | |
| 事業手法 (該当する場合は○印と下欄にその根拠) | ○ (a)府施策連携 | | ○ (b)広域連携 | | ○ (c)市町村連携 | | ○ (d)相談事業相乗効果 |
| | 商-15 | | 起業家の育成、創業の促進 | | | | 創業・経営革新 |
| 主な事業の目標 | 総支援対象企業数 | 設定根拠及び募集方法→ | ・泉佐野市ホームページ、広報、チラシ配架等で周知する。 ・町会を通じて商工会議所ニュースを全戸配布し広く一般の方に告示する。 ・近隣の商工会議所にも協力を依頼しチラシの配架 | | | | |
| | 支援対象企業の変化 (代表的な指標) | 15 社 | 創業へのモチベーションが高まり、創業への課題解決への一助となる。 | | | | |
| | | 指標 | 創業知識が深まり創業準備がイメージできた受講生の割合 | 数値目標 | 50% | | |
| | その他目標値 | 目標値の内容→ | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|--|--------------------------|----------|--------------------------|-----------|--------------------------|------------|--------------------------|-------------|---------|---|
| 算定基準 (行が足りない場合は、⇒ の行に挿入) | ⇒ | サービス単価 | | 支援企業数 | | 係数 | | 標準事業費 | | |
| | | 20,200 | 円 × | 15 | 社 × | 1.40 | = | 424,200 | 円 | |
| | | | 円 × | | 社 × | | = | | 円 | |
| | | | 円 × | | 社 × | | = | | 円 | |
| | | | 円 × | | 社 × | | = | | 円 | |
| | | | 円 × | | 社 × | | = | | 円 | |
| | | 合計 | | 15 | 社 | (小計) | | 424,200 | 円 | |
| ※新規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算(小計の5%) | | | | | | | | | 円 | |
| | | | | | | | | 計 | 424,200 | 円 |
| 独自提案単価及び独自補正係数の根拠 (基準どおりの場合不要) | | | | | | | | | | |
| 算出額 | ①市町村等補助 | | 円 | | 交付市町村等 | | | | | |
| | ②受益者負担 | | 49,500 円 | | 負担金の積算 | | 3,300円 × 15名 | | | |
| | <input type="checkbox"/> | (a)府施策連携 | <input type="checkbox"/> | (b)広域連携 | <input type="checkbox"/> | (c)市町村連携 | <input type="checkbox"/> | (d)相談事業相乗効果 | | |
| | 標準事業費 | | | | 補助率 | | (①市町村等+②受益者負担) | | | |
| | 424,200 円 | | × | 1.00 | = | 374,700 円 | | (49,500 円) | | |
| 補助金の団体配分 (「代」欄には、中核団体 またはヒアリングで説明する代 表団体に○) | 代 | 商工会・会議所名 | | 配分額 | | 役割(配分の考え方) | | | | |
| | | 泉佐野商工会議所 | | 374,700 円 | | | | | | |
| | | | | 円 | | | | | | |
| | | | | 円 | | | | | | |
| | | | | 円 | | | | | | |

【備考】

| |
|--|
| |
|--|

※別添で補足する内容があれば添付してください。

| | | | | | | | |
|--|-------------------------------|--|---------------------------|---|------------|--|-------------|
| 事業名 | | 女性起業家支援ネットワークの推進事業 | | 事業番号 | 5 | 新規/継続 | 新規 |
| 想定する実施期間 | | R 4 年度～ | 年度まで | 1 | 年目 | ←複数段階的实施事業は左欄に○を付けること。また、別紙にて計画を提出すること | |
| 事業の概要 | 事業概要 | 女性経営者やこれから経営を引き継いでいく方、起業を考えている女性の方々等を対象に、アイデアやビジネスを成長させるヒントを吸収すると共に、人との関わり合いが難しいご時世の中で、今の悩み事やお困りごとなどを吸収し合い、新たな道を開く切っ掛けをつくる。 | | | | | |
| | 事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) | ビジネスアイデアを実現するには、どうしたらよいのか。今のビジネスをさらにもう一段ステップアップするには等の課題を抱えている方々が、同じ女性経営者・女性起業家の方より体験談等を聞くことで課題解決や新たな視点を得ることができる。また同じような想いを持つ仲間との交流の場を提供することで、一緒に学び、成長していくという環境を整えることができ、先輩の女性経営者や起業家とのネットワークを構築でき、適宜、経営の悩みを相談できる一生の仲間をつくることのできる。 | | | | | |
| | 支援する対象 (業種・事業所数等) | 女性経営者やこれから経営を引き継いでいく方や起業して間もない方または起業に興味をお持ちの女性の方、これからさらにステップアップしたい方等。 | | | | | |
| | 事業に対する 企業ニーズ (内容・把握方法等) | マーケットの深堀りやアイデアやビジネスを成長させるためのヒントを得ることで、もう一段ステップアップすることができる。またビジネスの課題に対して、気軽に語り合え、相談できる機会や場がなく、課題解決が進まないという現状があり、その課題解決のため女性経営者・起業家間のコミュニティを構築することで、事業の相談やノウハウ等を共有できる。 | | | | | |
| これまでの 取組状況 ※継続事業の場合のみ記入 | 実施内容・ 実績数値 | | | | | | |
| | 反省点 | | | | | | |
| 具体的な実施 内容・ 手法 (該当型 に○) いつ・ どこで・ 何を・ どのように するのかを 明確に) | 人材育成型 | 開催時期：10月～12月 ごろ (1日開催) 開催時間：①セミナー形式による2時間～2時間30分 内 容：・女性経営者や起業家による事業を成長させるためのアドバイス ・新たな視点の獲得 等 講 師：女性経営者、女性コンサルタント、行政の女性起業家等の支援者等 | | | | | |
| | ○ 人材交流型 | | | | | | |
| | 販路開拓型 | 開催時間：②交流会形式による1時間 (参加者同士での情報交換や仲間づくり) 内 容：様々な起業スタイル・創業後の「壁」を打ち破るコツ・社会の「困りごと」の本質の見抜き方等、参加者同士又は先輩経営者・講師から直接話を聞くことで、モチベーションを維持し、自分の事業のヒントを得る。 | | | | | |
| | ハズブロ型 | | | | | | |
| | 独自提案型 | | | | | | |
| 事業手法 (該当する場合は ○印と下欄に その根拠) | ○ (a)府施策連携 | | (b)広域連携 | | ○ (c)市町村連携 | | (d)相談事業相乗効果 |
| | 局-2 | | 女性起業家支援ネットワークの推進 | | | 創業・経営革新 | |
| 主な 事業の 目標 | 総支援対象企業数 | 設定根拠及び 募集方法⇒ | | ・泉佐野市ホームページ、広報、チラシ配架等で周知する。 ・町会を通じて商工会議所ニュースを全戸配布し広く一般の方に告示する。 | | | |
| | | 15 社 | | | | | |
| | 支援対象企業の変化 (代表的な指標) | 新たな視点やノウハウを得ることができ、自社事業が加速化すると共に、互いに高め合える女性経営者・女性起業家と交流することで、モチベーションアップに繋がる。 | | | | | |
| | | 指標 | 経営の悩みを相談できる仲間をつくることのできた割合 | | 数値目標 | 70% | |
| その他目標値 | 目標値の内容⇒ | | | | | | |
| | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|--|--------------------------|----------|--------------------------|-----------|--------------------------|------------|--------------------------------------|---------|---------|---|
| 算定基準 (行が足りない場合は、⇒ の行に挿入) | ⇒ | サービス単価 | | 支援企業数 | | 係数 | | 標準事業費 | | |
| | | 40,400 | 円 × | 15 | 社 × | 1.00 | = | 606,000 | 円 | |
| | | | 円 × | | 社 × | | = | | 円 | |
| | | | 円 × | | 社 × | | = | | 円 | |
| | | | 円 × | | 社 × | | = | | 円 | |
| | | | 円 × | | 社 × | | = | | 円 | |
| | | 合計 | | 15 | 社 | (小計) | | 606,000 | 円 | |
| ※新規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算(小計の5%) | | | | | | | | | 円 | |
| | | | | | | | | 計 | 606,000 | 円 |
| 独自提案単価及び独自補正係数の根拠 (基準どおりの場合不要) | | | | | | | | | | |
| 算出額 | ①市町村等補助 | | 円 | | 交付市町村等 | | | | | |
| | ②受益者負担 | | 円 | | 負担金の積算 | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> | (a)府施策連携 | <input type="checkbox"/> | (b)広域連携 | <input type="checkbox"/> | (c)市町村連携 | <input type="checkbox"/> (d)相談事業相乗効果 | | | |
| | 標準事業費 | | | | 補助率 | | (①市町村等+②受益者負担) | | | |
| | 606,000 | | 円 | × | 1.00 | = | 606,000 | 円 | (円) | |
| 補助金の団体配分 (「代」欄には、中核団体 またはヒアリングで説明する代 表団体に○) | 代 | 商工会・会議所名 | | 配分額 | | 役割(配分の考え方) | | | | |
| | | 泉佐野商工会議所 | | 606,000 円 | | | | | | |
| | | | | 円 | | | | | | |
| | | | | 円 | | | | | | |
| | | | | 円 | | | | | | |

【備考】

| |
|--|
| |
|--|

※別添で補足する内容があれば添付してください。

| | | | | | | |
|--|---|---|--|------------------------------|--|-----|
| 事業名 | | クラウドファンディング活用セミナー | 事業番号 | 6 | 新規/継続 | 新規 |
| 想定する実施期間 | | R4 年度～ 年度まで | 1 | 年目 | ←複数段階的実施事業は左欄に○を付けること。 また、別紙にて計画を提出すること | |
| 事業の概要 | 事業概要 | クラウドファンディングに関するセミナーを開催し事業所へクラウドファンディングの活用促進を図る。 | | | | |
| | 事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) | 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、多くの事業所の売上が大きく減少した。しかし、コロナ禍の中でも新しい取り組みを実施するために、クラウドファンディングを活用し、新たな商品開発やサービスの提供を行っている会社も多くある。本事業ではクラウドファンディングに関するセミナーを開催し、クラウドファンディングの活用促進を図る。 | | | | |
| | 支援する対象 (業種・事業所数等) | 泉佐野市内の中小企業・個人事業所の代表者・事務担当者を対象として、20社を想定。 | | | | |
| | 事業に対する企業ニーズ (内容・把握方法等) | 近年、事業所から補助金に関する問い合わせが多く見られる。問い合わせが多い反面、補助金が対象外(要件を満たさない)だったケースも多くあった。その為、補助金等が対象外になった事業所でも、多くの方から資金を調達することができるクラウドファンディングの活用を促していく必要がある。 | | | | |
| これまでの取組状況 ※継続事業の場合のみ記入 | 実施内容・実績数値 | | | | | |
| | 反省点 | | | | | |
| 具体的な実施内容・手法 (該当型に○)いつ・どこで・何を・どのようにするのかを明確に) | ○ 人材育成型 | 泉佐野商工会議所において、クラウドファンディングの知識が豊富な専門家を招き、資金調達に悩んでいる事業所に対してクラウドファンディングの活用方法についてレクチャーする。(新型コロナの感染拡大状況により、リモートに変更する場合がある。) 【実施時期】令和4年6月以降 【内容】(1日間2時間～3時間予定) ・クラウドファンディングとは(クラウドファンディングの概要・種類・メリットとデメリット) ・クラウドファンディングの始め方 ・クラウドファンディングの事例紹介 ・その他 | | | | |
| | 人材交流型 | | | | | |
| | 販路開拓型 | | | | | |
| | ハズ' ォン型 | | | | | |
| | 独自提案型 | | | | | |
| 事業手法 (該当する場合は○印と下欄にその根拠) | ○ (a)府施策連携 | (b)広域連携 | ○ (c)市町村連携 | (d)相談事業相乗効果 | | |
| | 商-19 | クラウドファンディングの活用促進 | | 販路開拓 | | |
| | (a) 中小企業支援室商業・サービス産業課新事業創造グループと連携してクラウドファンディングに関する説明会を開催する。(c) 市役所との連携を通じて、案内周知を図る。 | | | | | |
| 主な事業の目標 | 総支援対象企業数 | 設定根拠及び募集方法⇒ | 泉佐野市・田尻町内の事業所20社の参加を想定。周知方法として、本所の会報に案内チラシの折込み配布、ホームページに掲載、巡回・窓口配布にて周知を行う。 | | | |
| | 支援対象企業の変化 (代表的な指標) | 20 社 | クラウドファンディングを活用し、新たな製品・サービスの提供を促進に繋げることができる。 | | | |
| | その他目標値 | 目標値の内容⇒ | 指標 | クラウドファンディングについて理解が深まった事業所の割合 | 数値目標 | 70% |

| | | | | | | | | | |
|--|-----------------------|----------|-------|-----------------------|---------|-----------------------|----------------|-----------------------|-------------|
| 算定基準 (行が足りない場合は、⇒ の行に挿入) | サービス単価 | | 支援企業数 | | 係数 | | 標準事業費 | | |
| | 20,200 | 円 × | 20 | 社 × | 1.00 | = | 404,000 | 円 | |
| | | 円 × | | 社 × | | = | | 円 | |
| | | 円 × | | 社 × | | = | | 円 | |
| | | 円 × | | 社 × | | = | | 円 | |
| | | 円 × | | 社 × | | = | | 円 | |
| | 合計 | | 20 | 社 | (小計) | | 404,000 | 円 | |
| ※新規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算 (小計の5%) | | | | | | | | 円 | |
| | | | | | | | 計 | 404,000 | 円 |
| 独自提案単価及び独自補正係数の根拠 (基準どおりの場合不要) | | | | | | | | | |
| 算出額 | ①市町村等補助 | | 円 | 交付市町村等 | | | | | |
| | ②受益者負担 | | 円 | 負担金の積算 | | | | | |
| | <input type="radio"/> | (a)府施策連携 | | <input type="radio"/> | (b)広域連携 | <input type="radio"/> | (c)市町村連携 | <input type="radio"/> | (d)相談事業相乗効果 |
| | 標準事業費 | | | 補助率 | | | (①市町村等+②受益者負担) | | |
| | 404,000 | 円 | × | 1.00 | = | 404,000 | 円 | (| 円) |
| 補助金の団体配分 (「代」欄には、中核団体 または「ア」で説明する代 表団体に○) | 代 | 商工会・会議所名 | | 配分額 | | 役割 (配分の考え方) | | | |
| | <input type="radio"/> | 泉佐野商工会議所 | | 404,000 円 | | | | | |
| | | | | 円 | | | | | |
| | | | | 円 | | | | | |
| | | | | 円 | | | | | |

【備考】

※別添で補足する内容があれば添付してください。

| | | | | | | | |
|--|-------------------------------|--|---|------------|---------------|---------|--|
| 事業名 | | 魅せる写真撮影セミナー | | 事業番号 | 7 | 新規/継続 | 新規 |
| 想定する実施期間 | | R4 | 年度～ | 年度まで | 1 | 年目 | ←複数段階的实施事業は左欄に○を付けること。また、別紙にて計画を提出すること |
| 事業の概要 | 事業概要 | WebやSNSに掲載する写真を魅力的に撮影し、商品紹介やサービスPRを効果的にするセミナーを開催する。 | | | | | |
| | 事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) | 新型コロナウイルスの影響によりWebやSNSを中心としたインターネットによる販路開拓が活発化している。企業・個人問わず、インターネット上の情報発信や新規顧客開拓の取り組みは非常に重要であり、特に写真での情報は受け手側に大きな影響をもたらすことになる。 そのため、写真の出来映えは商品やサービスの売上に大きく関わってくる。スマートフォンでの写真撮影であっても被写体への工夫や撮影のコツなどによっては、出来映えをより良くさせることが可能なので、受講者の撮影技術向上を目的に本事業を実施する。 | | | | | |
| | 支援する対象 (業種・事業所数等) | 泉佐野市・田尻町のあらゆる業種の小規模事業者を対象とする。 | | | | | |
| | 事業に対する企業ニーズ (内容・把握方法等) | 会員巡回や相談事業での聞き取り調査により把握している。WebサイトやSNSを持っているが、活用方法が分からない小規模事業者が多く、アドバイスが欲しいという声を耳にすることが多い。 | | | | | |
| これまでの取組状況 ※継続事業の場合のみ記入 | 実施内容・実績数値 | | | | | | |
| | 反省点 | | | | | | |
| 具体的な実施内容・手法 (該当型に○)いつ・どこで・何を・どのようにするのかを明確に) | ○ 人材育成型 | ・魅せる写真撮影セミナーの実施 日程：2022年夏以降開催予定 会場：泉佐野商工会議所 | | | | | |
| | 人材交流型 | 対象：泉佐野市・田尻町内の中小企業の広告担当者・小規模事業者 | | | | | |
| | 販路開拓型 | 内容：写真を綺麗に撮影するメリット・魅せる写真の撮影方法 定員：20社予定 | | | | | |
| | ハズオン型 | 実施時期は夏以降で新型コロナウイルスの感染状況をみながら行う。感染状況によってはオンラインへ変更する場合もある。現地での開催の場合は、スマートフォン等の撮影機材と被写体の持参をしてもらい、その場での簡単な撮影を予定している。講師は本テーマに精通した方へ依頼予定。 | | | | | |
| | 独自提案型 | | | | | | |
| | 事業手法 (該当する場合は○印と下欄にその根拠) | (a)府施策連携 | (b)広域連携 | ○ (c)市町村連携 | ○ (d)相談事業相乗効果 | 人材育成・労務 | |
| | | (c)市町村連携 市役所・町役場との連携を通じて、案内周知を図る。市・町報版(会議所ニュース)を通じて、幅広く周知する。 (d)相談事業相乗効果 参加企業の個別の課題解決に対して、販路支援、IT支援等にてカルテ化に繋ぎ、相談事業相談効果を図る。 | | | | | |
| 主な事業の目標 | 総支援対象企業数 | 設定根拠及び募集方法⇒ | 20社の参加を想定。 開催案内の周知方法として、市広報に案内記事掲載、当所の会報に案内チラシの折込配布、HPに掲載、巡回・窓口配布にて行う。 | | | | |
| | 支援対象企業の変化 (代表的な指標) | 中小企業の広報担当者や個人事業者が技術や基礎知識を習得することにより、広報としての質の向上が見込まれる。販路支援での相談に対応する。 | | | | | |
| | | 指標 | 習得した知識や技術を広報で活用できると感じた事業所の割合 | 数値目標 | 50% | | |
| | その他目標値 | 目標値の内容⇒ | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|--|----------|----------|------|-----------|----------------|-------------|-----|---------|---------|---|
| 算定基準 (行が足りない場合は、⇒ の行に挿入) | ⇒ | サービス単価 | | 支援企業数 | | 係数 | | 標準事業費 | | |
| | | 20,200 | 円 × | 20 | 社 × | 1.00 | = | 404,000 | 円 | |
| | | | 円 × | | 社 × | | = | | 円 | |
| | | | 円 × | | 社 × | | = | | 円 | |
| | | | 円 × | | 社 × | | = | | 円 | |
| | | | 円 × | | 社 × | | = | | 円 | |
| | | 合計 | | 20 | 社 | (小計) | | 404,000 | 円 | |
| ※新規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算 (小計の5%) | | | | | | | | | 円 | |
| | | | | | | | | 計 | 404,000 | 円 |
| 独自提案単価及び独自補正係数の根拠 (基準どおりの場合不要) | | | | | | | | | | |
| 算出額 | ①市町村等補助 | | 円 | 交付市町村等 | | | | | | |
| | ②受益者負担 | | 円 | 負担金の積算 | | | | | | |
| | (a)府施策連携 | (b)広域連携 | ○ | (c)市町村連携 | ○ | (d)相談事業相乗効果 | | | | |
| | 標準事業費 | | 補助率 | | (①市町村等+②受益者負担) | | | | | |
| | 404,000 | 円 × | 0.50 | = | 202,000 | 円 | (円) | | | |
| 補助金の団体配分 (「代」欄には、中核団体 またはヒアリングで説明する代 表団体に○) | 代 | 商工会・会議所名 | | 配分額 | | 役割 (配分の考え方) | | | | |
| | ○ | 泉佐野商工会議所 | | 202,000 円 | | | | | | |
| | | | | 円 | | | | | | |
| | | | | 円 | | | | | | |
| | | | | 円 | | | | | | |

【備考】

※別添で補足する内容があれば添付してください。

| 事業名 | | 就職フェア（合同就職面接会） | | 事業番号 | 8 | 新規/継続 | 継続 |
|--|---|--|---|------|------------|---|-------------|
| 想定する実施期間 | | H12 年度～ | 年度まで | 23 | 年目 | ←複数年段階的实施事業は左欄に○を付けること。また、別紙にて計画を提出すること | |
| 事業の概要 | 事業概要 | 若年・中高年齢者の人材を求める中小企業と働く意欲のある求職者を結びつけるための合同就職説明会を開催する。 | | | | | |
| | 事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) | 現下の厳しい雇用情勢の中にあつて、これからの成長企業と若年者等の求職者のマッチング機会を設けることで、企業の人材獲得はもとより、地域の雇用促進をはかる。また学生等と中小企業とが直接交流することにより、中小企業への理解を深めて頂く。 | | | | | |
| | 支援する対象 (業種・事業所数等) | 泉佐野公共職業安定所管内（泉佐野市・熊取町・田尻町・泉南市・阪南市・岬町）の事業所、又は関西国際空港内、りんくうタウンの事業所への参加募集を行う。 | | | | | |
| | 事業に対する企業ニーズ (内容・把握方法等) | 学生、既卒者、正社員・パート・アルバイト希望者と中小企業が直接交流することにより、中小企業への理解を深めて頂き、企業側における地域の優秀な若年者層の人材を確保したいというニーズとを結びつける。 | | | | | |
| これまでの取組状況 ※継続事業の場合のみ記入 | 実施内容・実績数値 | 開催日：令和3年11月25日（木） PM1：00～5：00 会場：関西エアポートワシントンホテル IF リヴァージュ 参加企業数：31社 来場者101名 面接者88名 採用決定15名 同時開催：「若年者就労相談」「ハローワークコーナー」「労働相談・情報コーナー」「農業コーナー」を開催し求人・求職ニーズに応じた施策等を実施している。 ※「自己PRポイント発見セミナー」「ワンポイントメイクアップコーナー」は新型コロナウイルス感染防止対策の為、中止。 | | | | | |
| | 反省点 | 前年度と比較して参加企業の申し込みは増えたが、求職者の数が減少していた。来年度は求職者を積極的に呼び込む工夫をしていきたい。また、前年度にもあった新型コロナウイルス感染防止対策の準備時間の短縮は、大幅に進んだが、まだまだ改善の余地があるので、今後同様の形式で開催する場合は時間短縮に努めていきたい。 | | | | | |
| 具体的な実施内容・手法 (該当型に○)いつ・どこで・何を・どのようにするのかを明確に) | 人材育成型 | (日程) 7月～10月ごろ (場所) 関西エアポートワシントンホテル又はスターゲイトホテル (来場者) 約120名 | | | | | |
| | ○ 人材交流型 | (面接会) 参加予定企業 35社 (主催) 泉佐野商工会議所・熊取町商工会・泉南市商工会・阪南市商工会・岬町商工会 (共催) 泉佐野市 (協力) 田尻町・熊取町・泉南市・阪南市・岬町 | | | | | |
| | 販路開拓型 | (連携機関) 泉佐野公共職業安定所・大阪府・阪南地域労働ネットワーク推進会議・泉州地域若者サポートステーション | | | | | |
| | ハズオン型 | ※求人・求職ニーズに応じた施策等を実施 (集客の手法) | | | | | |
| | 独自提案型 | ・大阪観光大学、大阪体育大学へのPR及び大阪府下の専門学校(約50校)へのPR・ポスター配布等 ・フリーペーパーの活用(高石市～岬町エリア) ・駅構内のデジタルサイネージ ・立て看板の設置(南海・泉佐野駅・井原の里駅等) ※新型コロナウイルスの感染状況を確認しながらオンラインセミナーも検討。 | | | | | |
| 事業手法 (該当する場合は○印と下欄にその根拠) | ○ (a)府施策連携 | | ○ (b)広域連携 | | ○ (c)市町村連携 | | (d)相談事業相乗効果 |
| | 労-9 | | 求人・求職マッチング事業(地域労働ネットワーク事業) | | | 雇用・求人 | |
| | (a)府施策連携労-9番「求人・求職マッチング事業」と連携/同時開催する大阪府の「労働相談・情報コーナー」との連携 (b)熊取町商工会・泉南市商工会・阪南市商工会・岬町商工会との広域連携で事業を実施(PR活動や当日のスタッフとしての協力) (c)事業のPR活動や当日のスタッフとしての協力(府・市・広報 窓口) | | | | | | |
| 主な事業の目標 | 総支援対象企業数 | 設定根拠及び募集方法⇒ | (募集方法) 当所会報・DM・泉佐野市報・田尻町報同時配布・会議所ニュース及びホームページにてPR及び経営指導員巡回チラシ配布 ・今年度の参加企業数は31社であり、毎年参加実績から35社を想定 | | | | |
| | | 35 社 | | | | | |
| | 支援対象企業の変化 (代表的な指標) | 指標 | 若年者等との面談ができた事業所の割合 | | | 数値目標 | 70% |
| | | 目標値の内容⇒ | 120 名 求職者数 | | | | |
| その他目標値 | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|--|--------------------------|----------|--------------------------|-----------|--------------------------|-------------|----------------|--------------|---|
| 算定基準 (行が足りない場合は、⇒ の行に挿入) | サービス単価 | | 支援企業数 | | 係数 | | 標準事業費 | | |
| | 40,400 | 円 × | 35 | 社 × | 1.00 | = | 1,414,000 | 円 | |
| | 40,400 | 円 × | 120 | 社 × | 0.05 | = | 242,400 | 円 | |
| | | 円 × | | 社 × | | = | | 円 | |
| | | 円 × | | 社 × | | = | | 円 | |
| | | 円 × | | 社 × | | = | | 円 | |
| | 合計 | | 155 | 社 | (小計) | | 1,656,400 | 円 | |
| ※新規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算 (小計の5%) | | | | | | | | 円 | |
| | | | | | | | 計 | 1,656,400 | 円 |
| 独自提案単価及び独自補正係数の根拠 (基準どおりの場合不要) | | | | | | | | | |
| 算出額 | ①市町村等補助 | | 690,000 円 | | 交付市町村等 | | | | |
| | ②受益者負担 | | | | 負担金の積算 | | | | |
| | <input type="checkbox"/> | (a)府施策連携 | <input type="checkbox"/> | (b)広域連携 | <input type="checkbox"/> | (c)市町村連携 | (d)相談事業相乗効果 | | |
| | 標準事業費 補助率 | | | | | | (①市町村等+②受益者負担) | | |
| | 1,656,400 | 円 | × | 1.00 | = | 966,400 | 円 | (690,000 円) | |
| 補助金の団体配分 (「代」欄には、中核団体 またはヒアリングで説明する代 表団体に○) | 代 | 商工会・会議所名 | | 配分額 | | 役割 (配分の考え方) | | | |
| | <input type="checkbox"/> | 泉佐野商工会議所 | | 441,800 円 | | 泉佐野 | 16社 | | |
| | | 熊取町商工会 | | 27,600 円 | | 熊取町 | 1社 | | |
| | | 泉南市商工会 | | 220,900 円 | | 泉南市 | 8社 | | |
| | | 阪南市商工会 | | 248,500 円 | | 阪南市 | 9社 | | |
| | 岬町商工会 | | 27,600 円 | | 岬町 | 1社 | | | |

【備考】

※別添で補足する内容があれば添付してください。

| 事業名 | | IT活用販路開拓支援事業 | | 事業番号 | 9 | 新規/継続 | 継続 | |
|--|---|---|------------|---------------|--------|-------|----|--|
| 想定する実施期間 | | R2 | 年度～ | R4 | 年度まで | 3 | 年目 | ←複数段階的实施事業は左欄に○を付けること。また、別紙にて計画を提出すること |
| 事業の概要 | 事業概要 | Web・SNS等を用いての販路開拓を推進する講座を行う。 | | | | | | |
| | 事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) | あらゆる業種においてITの活用は導入効果が期待できるが、ツールや手法が多数存在するため、導入にあたっての敷居が高くなっている状況である。本事業ではWeb・SNS等を用いて販路開拓に取り組む前向きな中小企業を掘り起こし、講座形式で支援を行っていく。本年度も新型コロナウイルス影響が見込まれるため、Web・SNSを用いての販路開拓を重視した講座を行う。 | | | | | | |
| | 支援する対象 (業種・事業所数等) | 広域連携にて泉佐野市、岸和田市、貝塚市の各市域において業種・業態を問わずWeb・SNSを用いての販路開拓を考えている方を対象に20社(泉佐野:10社、岸和田:5社、貝塚:5社)を想定。 | | | | | | |
| | 事業に対する企業ニーズ (内容・把握方法等) | 新型コロナウイルスの影響により非対面型のビジネスへの関心が前よりも高まっている。それに比例して事業者ニーズは前年度と比べて上がっている。 | | | | | | |
| これまでの取組状況 ※継続事業の場合のみ記入 | 実施内容・実績数値 | <p>※R3年度は、2月28日・3月8日に開催。</p> <p>第1回 開催日時：R3年2月24日(水)14:00～16:30 内容：・激変したコロナ以降の状況を把握 ・リピーターの確保と新規顧客を開拓する ・オンライン商談で欠かせないツールを使いこなす 場所：泉佐野商工会議所 4F さくらホール 講師：専門家 参加対象：泉州地域のITでの販路開拓に興味のある事業者 集客方法：DM・HP掲載・個別訪問等で集客を行う。</p> <p>第2回 開催日時：R3年3月12日(金)14:00～16:30 内容：・ブランド力を強化する、お店・会社より、商品より人を意識させるブランディング ・使う言葉が印象を変える。心に響くキャッチフレーズの作り方 ・角度を変えて商品を再認識。顧客目線で物事を考える ・色が独り歩きする、驚くべきアピール力 ・公式サイトほかに商品を強烈にアピールするランディングページを作成 場所：泉佐野商工会議所 2F 第一研修室 講師：専門家 参加対象：泉州地域のITでの販路開拓に興味のある事業者 集客方法：DM・HP掲載・個別訪問等で集客を行う。</p> | | | | | | |
| | 反省点 | 令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、各企業がオンラインへの進出に意欲的な傾向であった為、多くの受講者が参加する形になり、意義のある講義になったと感じた。今回、初めてオンラインでのセミナーを開催したが、まだまだ不慣れの点もあり、トラブルも発生してしまった。次回以降へのオンラインセミナーでは、トラブルの無いように改善を行っていきたいと考える。 | | | | | | |
| 具体的な実施内容・手法 (該当型に○)いつ・どこで・何を・どのようにするのかを明確に) | ○ 人材育成型 | 泉佐野商工会議所に於いて、当所幹事、近隣(岸和田、貝塚)との広域連携を図り、専門家を講師として招き必要な知識と準備についてレクチャーする。ITを利用した販売方法を学んでもらう。新規顧客との取引や販売に繋がった事例を紹介し、多くの参加者へITへの関心を高めてもらう。 | | | | | | |
| | 人材交流型 | 近年ではGoogle my businessや多様なSNSを用いた集客方法がコストのかからない広告方法として企業へ浸透してきている。しかし、各サービスへ登録を踏み出せない個人事業主や登録したものの何をすれば良いのかわからない事業者などはまだまだ多い。そういった事業者などを対象に使い方や運用方法を指導するセミナーを開催する。本年は1日で集中してセミナーを開催する。 【日時】7月～8月中(新型コロナウイルスの感染拡大状況により、リモートに変更する場合がある。) 【場所】泉佐野商工会議所 【内容】Google my business・SNSを用いた販売戦略 | | | | | | |
| | 販路開拓型 | | | | | | | |
| | ハズオン型 | | | | | | | |
| | 独自提案型 | | | | | | | |
| 事業手法 (該当する場合は○印と下欄にその根拠) | (a)府施策連携 | ○ (b)広域連携 | ○ (c)市町村連携 | ○ (d)相談事業相乗効果 | IT・IoT | | | |
| | <p>①当所幹事、近隣(岸和田、貝塚)との広域連携事業として効率良く実施する。開催案内の周知方法として、案内チラシを作成し、各所の会報に折込みやHPに掲示、巡回、窓口配布等を通じて幅広く周知する。開催場所は幹事である泉佐野商工会議所にて行う。</p> <p>②各市役所との連携を通じて、案内周知を図る。</p> <p>③参加企業の個別の課題解決に対して、販路支援等にてカルテ化に繋ぎ相談事業相乗効果を図る。</p> <p>④市の関係機関において関連セミナーを実施し、相乗効果を図る。</p> | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--|-----------------------------------|---|--|-----------------------|----------|-------------------------------|-------------|-----------------------|------|---|-------|---------|---|
| 主な事業の目標 | 総支援対象企業数 | 設定根拠及び募集方法⇒ 20 社 | 開催案内の周知方法として、会報に案内チラシの折込み配布、ホームページに掲載、巡回・窓口配布にて行う。 | | | | | | | | | | |
| | 支援対象企業の変化 (代表的な指標) | 参加企業がWeb・SNSを用いての販路開拓を目指す又は手法の改善をするようになる。 | | | | | | | | | | | |
| | その他目標値 | 指標 | ITを用いた販路開拓の方法について理解が深まった事業所の割合 | 数値目標 | 70% | | | | | | | | |
| 算定基準 (行が足りない場合は、⇒の行に挿入) | ⇒ | サービス単価 | 20,200 | 円 × | 支援企業数 | 20 | 社 × | 係数 | 1.00 | = | 標準事業費 | 404,000 | 円 |
| | | | | 円 × | | | 社 × | | | = | | 円 | |
| | | | | 円 × | | | 社 × | | | = | | 円 | |
| | | | | 円 × | | | 社 × | | | = | | 円 | |
| | | | | 円 × | | | 社 × | | | = | | 円 | |
| | | | 合計 | 20 | 社 | (小計) | 404,000 | 円 | | | | | |
| | | ※新規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算 (小計の5%) | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | 計 | 404,000 | 円 | | | | | |
| | 独自提案単価及び独自補正係数の根拠 (基準どおりの場合不要) | | | | | | | | | | | | |
| | 算出額 | ①市町村等補助 | | 円 | | 交付市町村等 | | | | | | | |
| ②受益者負担 | | 円 | | 負担金の積算 | | | | | | | | | |
| (a)府施策連携 | | <input type="radio"/> | (b)広域連携 | <input type="radio"/> | (c)市町村連携 | <input type="radio"/> | (d)相談事業相乗効果 | <input type="radio"/> | | | | | |
| 標準事業費 | | 補助率 | | (①市町村等+②受益者負担) | | | | | | | | | |
| | 404,000 | 円 | × | 0.75 | = | 303,000 | 円 | (| 円) | | | | |
| 補助金の団体配分 (「代」欄には、中核団体またはヒアリングで説明する代表団体に○) | 代 | 商工会・会議所名 | | 配分額 | | 役割 (配分の考え方) | | | | | | | |
| | ○ | 泉佐野商工会議所 | | 151,500 円 | | ・泉佐野 10社 ・岸和田 5社 ・貝塚 5社 | | | | | | | |
| | | 貝塚商工会議所 | | 75,750 円 | | | | | | | | | |
| | | 岸和田商工会議所 | | 75,750 円 | | | | | | | | | |
| | | | | 円 | | | | | | | | | |
| | | | 円 | | | | | | | | | | |

【備考】

※別添で補足する内容があれば添付してください。

| 事業名 | | 障がい者雇用に関するセミナー | | 事業番号 | 10 | 新規/継続 | 継続 |
|---|-------------------------------|--|--|------|----------|-------|---|
| 想定する実施期間 | | R3 | 年度～ | 年度まで | 2 | 年目 | ←複数年段階的实施事業は左欄に○を付けること。また、別紙にて計画を提出すること |
| 事業の概要 | 事業概要 | 制度の周知、支援施策に関する情報提供や事例発表を通じ、多様性企業への一歩を踏み出す。 | | | | | |
| | 事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) | 障がい者雇用における民間企業の法定雇用率が、令和3年3月1日以降さらに引き上げられたことで制度の対象となる事業主の範囲が、従業員43.5人以上に広がったことや少子高齢化社会において人材不足が予測されていることに伴い、障がい者雇用に取り組もうとする中小企業に対して、積極的な雇用の拡大の一助になることを目的とする。 | | | | | |
| | 支援する対象 (業種・事業所数等) | 管内の事業所に募集をはかり、業種は特定しない。 また、法定雇用率制度の対象事業所のみならず、関心のある事業所を幅広く支援対象とする。 | | | | | |
| | 事業に対する企業ニーズ (内容・把握方法等) | 人材不足に悩む企業が多い中、持続的な経済成長には多様な人材の活躍が必要不可欠である。多様な人材(女性、高齢者、外国人材、障害者等)の雇用に関して、すでに取り組まれている企業もこれから取り組む企業も障がい者雇用の活用は検討課題の一つであり、ニーズがある。 | | | | | |
| これまでの取組状況 ※継続事業の場合のみ記入 | 実施内容・実績数値 | <ul style="list-style-type: none"> ●開催日時：令和3年10月27日(水)14時～16時 ●内容： <ul style="list-style-type: none"> ・障害者雇用率制度、障害者雇用納付金等の制度の解説 ・雇い入れる際の業務の切り出しや雇用管理について ・助成金や補助金の紹介及び申請等サポート機関の紹介 ・事例紹介 ●場所：泉佐野商工会議所 4階 さくらホール (オンライン視聴も行った) ●講師：大阪府商工労働部 上席調査役 ●事例紹介事業所：2社実施 ●参加者数：11社10.5名(個票ベース) 他、一般の方の参加もあった。 ●集客方法：会報への掲載、会員向けDM発信、個別巡回・窓口配布にて行う。 | | | | | |
| | 反省点 | より具体的な行動に結びつくように、現場事務レベルで採用に向けて今後どのような行動をとっていけばいいかがイメージできるようにモデルとなる道筋を示すような内容(具体的には、中小規模の事業所における精神障害・発達障害者の雇用についてのモデルケースの提示や直接障がい者の就労支援をしている方の意見など)があればよかったと考えています。 また、参加者数が目標値よりも少なかったため、広報チラシなど案内手法について訴求力の高い記載内容を検討し改善する必要があると考えています。 | | | | | |
| 具体的な実施内容・手法 (該当型に○)いつどこで何をどのようにするのかを明確に) | ○ 人材育成型 | ●開催日時：令和4年10月～11月頃 (2時間程度を想定) | | | | | |
| | 人材交流型 | ●内容： <ul style="list-style-type: none"> ・障害者雇用率制度、障害者雇用納付金等の制度の解説 ・雇い入れる際の業務の切り出しや雇用管理について ・助成金や補助金の紹介及び申請等サポート機関の紹介 ・事例紹介(1社を想定：精神障がい者の雇用実績など具体的に設定する) | | | | | |
| | 販路開拓型 | ●場所：泉佐野商工会議所及びオンライン | | | | | |
| | ハズワ型 | ●講師：大阪府商工労働部 上席調査役の方、 並びに、障害者就業・生活支援センターの支援員の方を予定 | | | | | |
| | 独自提案型 | ●事例紹介事業所：1社を予定(①中小規模の事業所(精神・発達障害者の雇用実績)を予定) ●参加対象：経営者、人事担当者 ●集客方法：会報への掲載、会員向けDM発信、個別巡回・窓口配布にて行う。 | | | | | |
| 事業手法 (該当する場合は○印と下欄にその根拠) | ○ (a)府施策連携 | | ○ (b)広域連携 | | (c)市町村連携 | | (d)相談事業相乗効果 |
| | 労-7 | | 障がい者人材確保支援事業 | | | | 雇用・求人 |
| | | (a)府施策連携：労働関係No.7 障がい者人材確保支援事業 セミナー内で、障害者雇用に関わる府施策の紹介を行う。 | | | | | |
| | | (b)広域連携：当所幹事、近隣(岸和田、貝塚)との広域連携事業として効率良く実施する。開催案内の周知方法として、案内チラシを作成し、各所の会報、HP、巡回、窓口配布等を通じて、幅広く案内する。 | | | | | |
| 主な事業の目標 | 総支援対象企業数 | 設定根拠及び募集方法⇒ | 昨年度の同セミナーの参加人数から数字を設定。 会報への掲載、会員向けDM発信、個別巡回・窓口配布にて行う。 | | | | |
| | 支援対象企業の変化 (代表的な指標) | 15 社 | | | | | |
| | 指標 | 障がい者雇用に対して取組み意識が向上した割合 | | | 数値目標 | 70% | |
| その他目標値 | 目標値の内容⇒ | | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|--|---------|----------|-----|-----------|--------|---------------------------|----------------|-------------|---------|---|
| 算定基準 (行が足りない場合は、⇒ の行に挿入) | ⇒ | サービス単価 | | 支援企業数 | | 係数 | | 標準事業費 | | |
| | | 20,200 | 円 × | 15 | 社 × | 1.00 | = | 303,000 | 円 | |
| | | | 円 × | | 社 × | | = | | 円 | |
| | | | 円 × | | 社 × | | = | | 円 | |
| | | | 円 × | | 社 × | | = | | 円 | |
| | | | 円 × | | 社 × | | = | | 円 | |
| | | 合計 | | 15 | 社 | (小計) | | 303,000 | 円 | |
| ※新規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算 (小計の5%) | | | | | | | | | 円 | |
| | | | | | | | | 計 | 303,000 | 円 |
| 独自提案単価及び独自補正係数の根拠 (基準どおりの場合不要) | | | | | | | | | | |
| 算出額 | ①市町村等補助 | | 円 | | 交付市町村等 | | | | | |
| | ②受益者負担 | | 円 | | 負担金の積算 | | | | | |
| | ○ | (a)府施策連携 | ○ | (b)広域連携 | | (c)市町村連携 | | (d)相談事業相乗効果 | | |
| | 標準事業費 | | | | 補助率 | | (①市町村等+②受益者負担) | | | |
| | | 303,000 | 円 × | 1.00 | = | 303,000 | 円 | (| 円) | |
| 補助金の団体配分 (「代」欄には、中核団体 またはヒアリングで説明する代 表団体に○) | 代 | 商工会・会議所名 | | 配分額 | | 役割 (配分の考え方) | | | | |
| | ○ | 泉佐野商工会議所 | | 181,800 円 | | ・泉佐野9社 ・貝塚3社 ・岸和田3社 | | | | |
| | | 貝塚商工会議所 | | 60,600 円 | | | | | | |
| | | 岸和田商工会議所 | | 60,600 円 | | | | | | |
| | | | | 円 | | | | | | |
| | | | 円 | | | | | | | |

【備考】

※別添で補足する内容があれば添付してください。

| 事業名 | | BCP普及啓発セミナー | | 事業番号 | 11 | 新規/継続 | 継続 | |
|--|-------------------------------|---|--|------|------------|--|---------------|--|
| 想定する実施期間 | | H26 年度～ | 年度まで | 9 | 年目 | ←複数段階的实施事業は左欄に○を付けること。また、別紙にて計画を提出すること | | |
| 事業の概要 | 事業概要 | 感染症の拡大を含め、当地域でも大規模災害のリスクが高まっており、様々なリスクに備えるためにも、BCP策定の重要性・必要性を学び、各種自然災害や感染症対策の整備や見直しを図る。 | | | | | | |
| | 事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) | 新型コロナウイルスが猛威を振るい、多くの企業の事業継続に大きな影響をもたらした。当地域では、今後南海トラフ大地震などの大規模災害の発生や新型コロナウイルス感染拡大が懸念されている。平時より緊急時の事業継続のための方法等を取り決めておくことが必要である。そこでBCPの策定や防災対策の重要性や必要性を学ぶことで、BCPの作成・整備がすすむ。 | | | | | | |
| | 支援する対象 (業種・事業所数等) | 泉佐野市・貝塚市・熊取町・阪南市の広域連携にて実施。各市域の事業所のうち、BCP策定についての潜在ニーズを掘り起こし、その必要性は感じて頂く事業所20社（泉佐野7社・貝塚7社・阪南3社・熊取3社）を想定する。 | | | | | | |
| | 事業に対する 企業ニーズ (内容・把握方法等) | 近年、大規模な自然災害が全国各地で頻発しており、新型コロナ感染症などの自然災害以外のリスクも顕在化している。これらの災害等が発生したら、地域経済を担う中小・小規模事業所にとって、事業の早期復旧が欠かせないことから、BCP策定の普及啓発が必要となる。またその関心が高まりつつある。 | | | | | | |
| これまでの取組状況 ※継続事業の場合のみ記入 | 実施内容・実績数値 | R3年度開催 日時 R3年9月28日(火)PM2:00~4:00 会場：貝塚商工会議所 内容：「参加各企業周辺で想定される地震や風水害、感染症の被害」について ・参加各企業が用意すべき防災対策、BCP策定について（大阪府「超簡易版BCP これだけは！シートの活用」 ・「大阪府が推奨するBCPの施策等の紹介」参加者は6社（12名） | | | | | | |
| | 反省点 | 参加された方からは、満足度等から、ある程度の成果をあげられたが、まだまだ関心を持っていない事業所も多く、今後、普及啓発を活発に行うことで、BCPへの関心をもっと高める必要がある。 | | | | | | |
| 具体的な実施内容・手法 (該当型に○)いつ・どこで・何を・どのようにするのかを明確に) | ○ 人材育成型 | (1)講師として、当テーマに精通している専門家（コンサルタント等）を招き、令和4年9月以降に開催予定。（新型コロナウイルスの感染拡大状況により、リモートに変更する場合がある。） | | | | | | |
| | 人材交流型 | 所要時間 2時間～3時間 | | | | | | |
| | 販路開拓型 | 内 容 ①参加各企業周辺で発生しうる地震被害を整理する。 ②地震発生当日に対応すべき事項を整理し、マニュアル化する。 ③大阪府や大阪府商工会連合会の支援制度等の紹介。 | | | | | | |
| | ハンズオン型 | 会 場 泉佐野商工会議所 | | | | | | |
| 事業手法 (該当する場合は○印と下欄にその根拠) | ○ (a)府施策連携 | | ○ (b)広域連携 | | ○ (c)市町村連携 | | ○ (d)相談事業相乗効果 | |
| | 商-12 | | BCP・BCMの普及促進 | | | | BCP | |
| 主な事業の目標 | 総支援対象企業数 | 設定根拠及び募集方法⇒ | 泉佐野・貝塚・熊取・阪南にて計20社の参加を想定する。開催案内の周知方法として、関係所（泉佐野・貝塚・熊取・阪南）会報に案内チラシを折り込むとともに、巡回・窓口で配布する。また各会議所・商工会ホームページにも掲載する。（泉佐野7社・貝塚7社・熊取3社、阪南3社 計20社の参加を想定） | | | | | |
| | 支援対象企業の変化 (代表的な指標) | 当セミナーを通じて、防災対策、BCP策定の重要性を実感して頂き、策定に係る手順を一通り習得してもらい、その後の企業による本格的な取組みに繋げることを目的とする。 | | | | | | |
| | | 指標 | 事業継続力強化計画等を策定した事業所数 | | | 数値目標 | 20社 | |
| | その他目標値 | 目標値の内容⇒ | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--|--------------------------|----------|--------------------------|-----------|--------------------------|-------------|--------------------------|-------------|------|---|---------|---------|---|
| 算定基準 (行が足りない場合は、⇒ の行に挿入) | ⇒ | サービス単価 | 20,200 | 円 × | 支援企業数 | 20 | 社 × | 係数 | 1.00 | = | 標準事業費 | 404,000 | 円 |
| | | | | 円 × | | | 社 × | | | = | | 円 | |
| | | | | 円 × | | | 社 × | | | = | | 円 | |
| | | | | 円 × | | | 社 × | | | = | | 円 | |
| | | | | 円 × | | | 社 × | | | = | | 円 | |
| | | 合計 | | | 20 | | 社 | (小計) | | | 404,000 | 円 | |
| ※新規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算 (小計の5%) | | | | | | | | | | | | 円 | |
| | | | | | | | | | | | 計 | 404,000 | 円 |
| 独自提案単価及び独自補正係数の根拠 (基準どおりの場合不要) | | | | | | | | | | | | | |
| 算出額 | ①市町村等補助 | | 円 | | 交付市町村等 | | | | | | | | |
| | ②受益者負担 | | 円 | | 負担金の積算 | | | | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> | (a)府施策連携 | <input type="checkbox"/> | (b)広域連携 | <input type="checkbox"/> | (c)市町村連携 | <input type="checkbox"/> | (d)相談事業相乗効果 | | | | | |
| | 標準事業費 | | 補助率 | | (①市町村等+②受益者負担) | | | | | | | | |
| | 404,000 | 円 | × | 1.00 | = | 404,000 | 円 | (| 円) | | | | |
| 補助金の団体配分 (「代」欄には、中核団体 またはヒアリングで説明する代 表団体に○) | 代 | 商工会・会議所名 | | 配分額 | | 役割 (配分の考え方) | | | | | | | |
| | ○ | 泉佐野商工会議所 | | 141,400 円 | | ・泉佐野：7社 | | | | | | | |
| | | 貝塚商工会議所 | | 141,400 円 | | ・貝塚：7社 | | | | | | | |
| | | 阪南市商工会 | | 60,600 円 | | ・阪南：3社 | | | | | | | |
| | | 熊取町商工会 | | 60,600 円 | | ・熊取：3社 | | | | | | | |
| | | | | 円 | | | | | | | | | |

【備考】

※別添で補足する内容があれば添付してください。

| | | | | | | | |
|---|-------------------------------|--|---|------|----------|--|-------------|
| 事業名 | | ビジネスコミュニケーション能力アップセミナー | | 事業番号 | 12 | 新規/継続 | 新規 |
| 想定する実施期間 | | R4 年度～ | 年度まで | 1 | 年目 | ←複数段階的实施事業は左欄に○を付けること。また、別紙にて計画を提出すること | |
| 事業の概要 | 事業概要 | ビジネスコミュニケーション能力アップにより、人材育成を図る。 | | | | | |
| | 事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) | IT化とネットワーク化で機械に仕事を奪われ、激化するグローバル競争と海外への業務アウトソースによってビジネス環境は大きく変化している。日本企業においても社員の専門性やスキルを高め、差別化商品や自社だけのサービスを生み出すことが可能な人材を育成しなければ、生き残れない時代となっている。また、人材育成は経営戦略の要として人事部だけの仕事ではなく組織的に取り組むべき最重要課題であると考えられる。そこで若手社員・中堅社員・人事担当者が業務を行なうにあたって必要なスキルを習得し、企業としての組織基盤の強化につなげていくことを目的とする。 | | | | | |
| | 支援する対象 (業種・事業所数等) | 業種は問わず、広域連携にて泉佐野市、岸和田市、貝塚市の各市域における事業所で勤務する全従業員を対象として、24社(泉佐野:12社、岸和田:6社、貝塚:6社)を想定。 | | | | | |
| | 事業に対する企業ニーズ (内容・把握方法等) | 日々の経営相談支援(労務支援)の中、経営者や人事担当者から人材育成についての相談が多く寄せられニーズが高い。また、従業員の高齢化が進んでいる中小・小規模事業所のためにも従業員の定着支援・人材育成に係るセミナーを開催し就労支援につなげるのが責務と考えている。 | | | | | |
| これまでの取組状況 ※継続事業の場合のみ記入 | 実施内容・実績数値 | | | | | | |
| | 反省点 | | | | | | |
| 具体的な実施内容・手法 (該当型に○印をつけて、いつ・どこで・何を・どのようにするのかを明確に) | ○ 人材育成型 | 開催時期:令和4年10月～令和5年2月頃予定(新型コロナの感染拡大状況により、リモートに変更する可能性がある。) 開催時間:セミナー形式で、3時間程度を予定 開催場所:泉佐野商工会議所 テーマ:ビジネスコミュニケーション能力アップセミナー | | | | | |
| | 人材交流型 | 講師:企業における経営指導において実績豊富な人材コンサルタント ①ビジネスコミュニケーションとは 仕事とプライベートのコミュニケーションはどう違う?/ビジネスで必要とされるコミュニケーション ②印象管理 第一印象で変わるコミュニケーション/コミュニケーションにおける「印象」/自分のコミュニケーションの癖を知る | | | | | |
| | 販路開拓型 | ③傾聴力～聴く力～を身につける 円滑なコミュニケーションのための傾聴力/相手が伝いたいことを要約するポイント ④説得力ある話し方～訊く力～を身につける 相手を惹きつける話し方のコツ/「伝える」と「伝わる」の違い | | | | | |
| | ハズブロ型 | ⑤相手を認める・自分を知る 相手との共通点探し/エゴグラムの作成 ⑥職場でのコミュニケーション 職場でのコミュニケーション/一対多のコミュニケーション | | | | | |
| | 独自提案型 | ⑦コミュニケーションの仕上げ ビジネスシーンシーンを想定した実践ロールプレイング 【セミナー運営にあたって】 換気:30分に一回程度、出入口を開放して換気を行います。間隔:定員を減らし、十分な座席間隔(1メートル程度)を確保します。グループワークは、近距離での会話にならないよう座席配置の検討をします。講師・職員はマスクを着用します。会場入り口にアルコール消毒液を設置・用意いたします。会場の机・備品当については消毒を実施します。 | | | | | |
| 事業手法 (該当する場合は○印と下欄にその根拠) | (a)府施策連携 | ○ | (b)広域連携 | ○ | (c)市町村連携 | | (d)相談事業相乗効果 |
| | 人材育成・労務 | | | | | | |
| | | (b)広域連携 当所幹事、近隣(岸和田、貝塚)との広域連携事業として効率良く実施する。開催案内の周知方法として、案内チラシを作成し、各所の会報に折込みやHPに掲載、巡回、窓口配布等を通じて幅広く周知する。開催場所は幹事である泉佐野商工会議所にて行う。 (c)市町村連携 各市役所との連携を通じて、案内周知を図る。 | | | | | |
| 主な事業の目標 | 総支援対象企業数 | 設定根拠及び募集方法⇒ | 広域連携(泉佐野・岸和田・貝塚)にて泉佐野・岸和田・貝塚の計24社の参加を想定。 | | | | |
| | 支援対象企業の変化 (代表的な指標) | 24 社 | 開催案内の周知方法として、各所(泉佐野・岸和田・貝塚)の会報に案内チラシの折込み配布、ホームページに掲載、巡回・窓口配布にて行う。 | | | | |
| | 指標 | ビジネスコミュニケーション能力が向上した感じる企業の割合 | | 数値目標 | 70% | | |
| その他目標値 | | 目標値の内容⇒ | | | | | |

| | | | | |
|--|-------|--|--|--|
| | その他目標 | | | |
|--|-------|--|--|--|

| | | | | | | | | | | |
|--|----------|----------|-----------|-----------|----------------|------------|-------------|---------|---------|--|
| 算定基準 (行が足りない場合は、⇒ の行に挿入) | ⇒ | サービス単価 | | 支援企業数 | | 係数 | | 標準事業費 | | |
| | | 20,200 | 円 × | 24 | 社 × | 1.00 | = | 484,800 | 円 | |
| | | | 円 × | | 社 × | | = | | 円 | |
| | | | 円 × | | 社 × | | = | | 円 | |
| | | | 円 × | | 社 × | | = | | 円 | |
| | | | 円 × | | 社 × | | = | | 円 | |
| | | 合計 | | 24 | 社 | (小計) | | 484,800 | 円 | |
| ※新規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算(小計の5%) | | | | | | | | | 円 | |
| | | | | | | | | | 計 | |
| | | | | | | | | | 484,800 | |
| 独自提案単価及び独自補正係数の根拠 (基準どおりの場合不要) | | | | | | | | | | |
| 算出額 | ①市町村等補助 | | 円 | | 交付市町村等 | | | | | |
| | ②受益者負担 | | 円 | | 負担金の積算 | | | | | |
| | (a)府施策連携 | | ○ (b)広域連携 | | ○ (c)市町村連携 | | (d)相談事業相乗効果 | | | |
| | 標準事業費 | | 補助率 | | (①市町村等+②受益者負担) | | | | | |
| | 484,800 | | 円 × | | 0.75 | | = | | 363,600 | |
| | | | | 円 | | | | (円) | | |
| 補助金の団体配分 (「代」欄には、中核団体 またはヒアリングで説明する代 表団体に○) | 代 | 商工会・会議所名 | | 配分額 | | 役割(配分の考え方) | | | | |
| | ○ | 泉佐野商工会議所 | | 181,800 円 | | ・泉佐野：12社 | | | | |
| | | 岸和田商工会議所 | | 90,900 円 | | ・岸和田：6社 | | | | |
| | | 貝塚商工会議所 | | 90,900 円 | | ・貝塚：6社 | | | | |
| | | | | 円 | | | | | | |
| | | | 円 | | | | | | | |

【備考】

※別添で補足する内容があれば添付してください。

| | | | | | | | |
|--|-------------------------------|---|---|------|------------|-------|---|
| 事業名 | | ハラスメント防止対策セミナー | | 事業番号 | 13 | 新規/継続 | 新規 |
| 想定する実施期間 | | R4 | 年度～ | 年度まで | 1 | 年目 | ←複数年段階的实施事業は左欄に○を付けること。また、別紙にて計画を提出すること |
| 事業の概要 | 事業概要 | ハラスメント防止対策に関するセミナーを開催し事業所へハラスメント行為について注意を促す。 | | | | | |
| | 事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) | 令和2年に大手企業を対象にパワハラ防止法が施行されました。今までは努力義務であった中小事業主も令和4年4月から義務化されます。しかし、中小事業主は新型コロナウイルス感染症の対応に追われ、パワハラ防止法があることを知らない方も見受けられる。本事業ではハラスメント防止対策に関するセミナーを開催し、ハラスメント行為について注意を促す。 | | | | | |
| | 支援する対象 (業種・事業所数等) | 泉佐野市内および広域連携(岸和田・貝塚)管内の中小企業・個人事業所の経営者・総務担当者を対象として、20社を想定。 | | | | | |
| | 事業に対する企業ニーズ (内容・把握方法等) | 中小事業主は令和4年4月からパワハラ防止法が義務化される。その為、パワハラ防止法について理解していない状態で従業員を雇用していると、ハラスメントが発生した際に適切に対応することができない。そのような事を防ぐためにハラスメント行為について注意を促していく必要がある。 | | | | | |
| これまでの取組状況 ※継続事業の場合のみ記入 | 実施内容・実績数値 | | | | | | |
| | 反省点 | | | | | | |
| 具体的な実施内容・手法 (該当型に○)いつ・どこで・何を・どのようにするのかを明確に) | ○ 人材育成型 | 泉佐野商工会議所において、ハラスメント防止対策について詳しい専門家を招き、どのように対応すれば良いか分からない事業所に対してハラスメント防止対策をレクチャーする。(新型コロナの感染拡大状況により、リモートに変更する場合がある。) | | | | | |
| | 人材交流型 | 【実施時期】令和4年6月以降 | | | | | |
| | 販路開拓型 | 【内容】(1日間2時間～3時間予定) | | | | | |
| | ハズ ㊦型 | ・職場のパワーハラスメント防止対策について ・ハラスメント防止に向けた手順 ・対策を怠った場合のリスクについて ・その他(大阪府・労働相談センターのご紹介) | | | | | |
| | 独自提案型 | | | | | | |
| 事業手法 (該当する場合は○印と下欄にその根拠) | ○ (a)府施策連携 | | ○ (b)広域連携 | | ○ (c)市町村連携 | | (d)相談事業相乗効果 |
| | 労-12 | | 雇用・労働啓発セミナー事業 | | | | 人材育成・労務 |
| | | (a) 労働環境課労働環境推進グループと連携してハラスメント防止対策に関する説明会を開催する。 (b) 当所幹事、近隣(岸和田、貝塚)との広域連携事業として効率良く実施する。開催案内の周知方法として、案内チラシを作成し、各所の会報、HP、巡回、窓口配布等を通じて、幅広く案内する。 (c) 市役所との連携を通じて、案内周知を図る。 | | | | | |
| 主な事業の目標 | 総支援対象企業数 | 設定根拠及び募集方法⇒ | 泉佐野市・田尻町・貝塚市・岸和田市20社の参加を想定。開催案内の周知方法として、本所の会報に案内チラシの折込み配布、ホームページに掲載、巡回・窓口配布にて周知を行う。 | | | | |
| | 支援対象企業の変化 (代表的な指標) | 説明会に参加することで、ハラスメント防止対策について理解ができる。 | | | | | |
| | 指標 | ハラスメント防止対策について理解が深まった事業所の割合 | | | 数値目標 | 70% | |
| その他目標値 | 目標値の内容⇒ | | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|--|--------------------------|----------|--------------------------|-----------|--------------------------|-------------|----------------|---------|---------|---|
| 算定基準 (行が足りない場合は、⇒ の行に挿入) | ⇒ | サービス単価 | | 支援企業数 | | 係数 | | 標準事業費 | | |
| | | 20,200 | 円 × | 20 | 社 × | 1.00 | = | 404,000 | 円 | |
| | | | 円 × | | 社 × | | = | | 円 | |
| | | | 円 × | | 社 × | | = | | 円 | |
| | | | 円 × | | 社 × | | = | | 円 | |
| | | | 円 × | | 社 × | | = | | 円 | |
| | | 合計 | | 20 | 社 | (小計) | | 404,000 | 円 | |
| ※新規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算 (小計の5%) | | | | | | | | | 円 | |
| | | | | | | | | 計 | 404,000 | 円 |
| 独自提案単価及び独自補正係数の根拠 (基準どおりの場合不要) | | | | | | | | | | |
| 算出額 | ①市町村等補助 | | 円 | 交付市町村等 | | | | | | |
| | ②受益者負担 | | 円 | 負担金の積算 | | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> | (a)府施策連携 | <input type="checkbox"/> | (b)広域連携 | <input type="checkbox"/> | (c)市町村連携 | (d)相談事業相乗効果 | | | |
| | 標準事業費 | | | | 補助率 | | (①市町村等+②受益者負担) | | | |
| | 404,000 | 円 | × | 1.00 | = | 404,000 | 円 | (円) | | |
| 補助金の団体配分 (「代」欄には、中核団体 またはヒアリングで説明する代 表団体に○) | 代 | 商工会・会議所名 | | 配分額 | | 役割 (配分の考え方) | | | | |
| | ○ | 泉佐野商工会議所 | | 202,000 円 | | ・泉佐野 10社 | | | | |
| | | 岸和田商工会議所 | | 101,000 円 | | ・岸和田 5社 | | | | |
| | | 貝塚商工会議所 | | 101,000 円 | | ・貝塚 5社 | | | | |
| | | | | 円 | | | | | | |
| | | | 円 | | | | | | | |

【備考】

※別添で補足する内容があれば添付してください。

6. 経費支出計画書（経費内訳）

泉佐野商工会議所

| I 経営相談支援事業 | | | | |
|------------------|---------|---------|------------|------|
| 区 分 | 算 定 基 準 | | | 補助金額 |
| | 事業所数/回数 | 単 価 (円) | 計 | |
| 事業所カルテ・サービス提案 | 200 | 25,000 | 5,000,000 | |
| 支援機関等へのつなぎ | 30 | 10,000 | 300,000 | |
| 金融支援（紹介型） | 30 | 30,000 | 900,000 | |
| 金融支援（経営指導型） | 55 | 40,000 | 2,200,000 | |
| マル経融資等の返済条件緩和支援 | 5 | 20,000 | 100,000 | |
| 資金繰り計画作成支援 | 50 | 20,000 | 1,000,000 | |
| 記帳支援 | 20 | 25,000 | 500,000 | |
| 労務支援 | 55 | 20,000 | 1,100,000 | |
| 人材育成計画作成支援 | 0 | 20,000 | 0 | |
| マーケティング力向上支援 | 5 | 20,000 | 100,000 | |
| 販路開拓支援 | 57 | 20,000 | 1,140,000 | |
| 事業計画作成支援 | 50 | 50,000 | 2,500,000 | |
| 創業支援 | 10 | 20,000 | 200,000 | |
| 事業継続計画(BCP)等作成支援 | 10 | 20,000 | 200,000 | |
| コスト削減計画作成支援 | 25 | 20,000 | 500,000 | |
| 財務分析支援 | 57 | 10,000 | 570,000 | |
| 5S支援 | 0 | 10,000 | 0 | |
| IT化支援 | 10 | 20,000 | 200,000 | |
| 債権保全計画作成支援 | 0 | 10,000 | 0 | |
| 事業承継支援 | 10 | 20,000 | 200,000 | |
| 災害時対応支援 | 0 | 5,000 | 0 | |
| フォローアップ支援 | 41 | 5,000 | 205,000 | |
| 結果報告 | 176 | 10,000 | 1,760,000 | |
| 小 計 | - | | 18,675,000 | |

| II 専門相談支援事業 | | | | |
|-------------|---------|--|---------|---------|
| 事 業 名 | 算 定 基 準 | | | 補助金額 |
| | 支援日数 | | 計 | |
| 法律 | 10 | | 240,000 | |
| 税務 | 12 | | 288,000 | |
| 労務 | 4 | | 96,000 | |
| 知財 | 4 | | 96,000 | |
| 小 計 | 30 | | 720,000 | 720,000 |

※記帳支援のために税理士を活用する場合は、単価26,000円×事業所数

| III 地域活性化事業 | | |
|-------------|------------|-----------|
| 小 計 | 算定基準 | 補助金額 |
| | 別紙事業調書のとおり | 7,536,575 |

| IV 商工会等支援事業 | | |
|-------------|------------|------|
| 小 計 | 算定基準 | 補助金額 |
| | 別紙事業調書のとおり | 0 |

| V 合計 | | |
|------|--|------------|
| 合 計 | | 補助金額 |
| | | 26,931,575 |